

岡山県在住外国人生活状況調査 報告書

平成30年3月
岡山県

目 次

I 調査概要

1	調査目的	1
2	アンケート調査実施概要	1
(1)	調査対象	1
(2)	抽出方法	1
(3)	調査方法	1
(4)	調査項目	1
(5)	調査期間	1
(6)	回収結果	2
3	調査結果の見方	2

II アンケート調査結果

1 あなたご自身のことについて（基本属性）

1-1	性別	3
1-2	年齢	3
1-3	国籍	4
1-4	在留資格	4
1-5	日本での在住期間	5
1-6	岡山県での在住期間	5
1-7	居住市町村	6
1-8	岡山県・日本での定住意向	6
1-9	同居者	7

2 使っている言葉について

2-1	日本語能力	8
(1)	話す	8
(2)	聞く	8
(3)	読む	8
(4)	書く	8
2-2	日本語の勉強	9
2-3	日本語の勉強方法	11
2-4	日本語を勉強しない理由	12
2-5	日本語以外の語学能力	13

3 仕事について

3-1	就業状況	14
3-2		
(1)	仕事の業種	15
(2)	就業形態	16
(3)	仕事の見つけ方	18
(4)	収入の変化	20
(5)	仕事量の変化	20
(6)	仕事での不満	21

4 子育てと教育について

4-1	18歳以下の子どもの有無	23
4-2		
(1)	主な子育ての方法	23
(2)	子育てでの困りごと	24
4-3		
(1)	日本の学校への通学状況	25
(2)	日本の学校への要望	25
(3)	日本の学校以外の学習状況	26
(4)	教育での心配ごと	27

5 住宅について

5-1	現在の住居	28
5-2	住宅での困りごと	30

6 医療や保険について

6-1	保険や年金への加入状況	31
6-2	保険や年金へ未加入の理由	32
6-3	けがや病気のときの対応	32
6-4	病院や診療所へ行かない理由	33

7 防災について

7-1	災害時の情報の入手先	34
7-2	知っておきたい災害情報	36
7-3	災害に対する日頃の備え	37

8 生活情報について	
8-1	生活情報の入手先……………39
8-2	県や市町村、支援団体からの情報の充実度……………41
8-3	県や市町村、支援団体から提供してほしい情報……………42
9 困りごとや相談について	
9-1	普段の生活での困りごとや不安なこと……………44
9-2	地域間トラブルの経験……………46
9-3	トラブルの原因……………46
9-4	偏見や差別を感じた経験……………47
9-5	偏見や差別を感じた場面……………48
9-6	外国人と日本人が共生するために必要なこと……………49
10 地域社会との関わりについて	
10-1	参加している地域活動……………51
10-2	地域活動に参加しやすくなるために必要なこと……………54
10-3	普段付き合っている人……………54
10-4	地域（岡山県）の国際化のためにできる活動……………56
11 行政・支援団体のサービスについて	
11-1	日本語教室や各種相談業務等のサービスの利用状況……………57
11-2	行政・支援団体への要望……………58
11-3	県や市町村に行ってほしい行政サービス（記述）……………60
	○コミュニケーション支援……………60
	○生活支援……………60
	○多文化共生の地域づくり……………60
Ⅲ アンケート調査票……………61	

I 調査概要

II アンケート調査結果

岡山県在住外国人生活状況調査報告書

I 調査概要

1 調査目的

県内の在住外国人に対する総合的・効果的な多文化共生施策検討の基礎データとするため、在住外国人の生活状況やニーズ等についてアンケート調査を行う。

2 アンケート調査実施概要

(1) 調査対象

県内市町村の住民基本台帳に登録されている在住外国人のうち、特別永住者を除く 20 歳以上の男女

(2) 抽出方法

市町村ごとに一定数（15%）を無作為抽出

(3) 調査方法

- ・ 郵送配布、郵送回収
- ・ 調査票は、日本語（ルビ付き）の他、外国語 1 カ国語（中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、タガログ語、英語、ベトナム語）の 2 種類を郵送

(4) 調査項目

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|----------|
| ・ 基本属性 | ・ 日本語能力 | ・ 仕事 | ・ 子育て・教育 |
| ・ 住宅 | ・ 医療・保険 | ・ 防災 | ・ 生活情報 |
| ・ 困りごと・相談 | ・ 地域社会 | ・ 行政等サービス | ・ 自由意見 |

(5) 調査期間

平成 29 年 6 月 16 日～平成 29 年 8 月 14 日

(6) 回収結果

	日本語	中国語	韓国・朝鮮語	ポルトガル語	タガログ語	英語	ベトナム語	計
回収数	270	86	8	11	36	48	37	496
構成割合 (%)	54.4	17.3	1.6	2.2	7.3	9.7	7.5	100.0

抽出者数	2,300人
調査票返送分	94人 (宛先不明、帰国等)
実質調査対象者数	2,206人
回答者数	496人 (回答率: 21.6%)

3 調査結果の見方

- (1) 図表の比率は百分率 (%) で表示し、小数点以下第2位を四捨五入し算出しているため、合計が100%を上下する場合がある。
- (2) 図表中の「n」は number of cases の略で、回答者総数または分類別の回答者数を示す。各比率はnを100%として算出している。
- (3) 複数の回答を求めた質問では、その設問の回答者数を基数としているため、回答比率が100%を超えることがある。
- (4) 集計においては、無回答を除いている。
- (5) 回答者が記述する質問での回答は、原文の趣旨を変えない範囲で簡潔にまとめている。

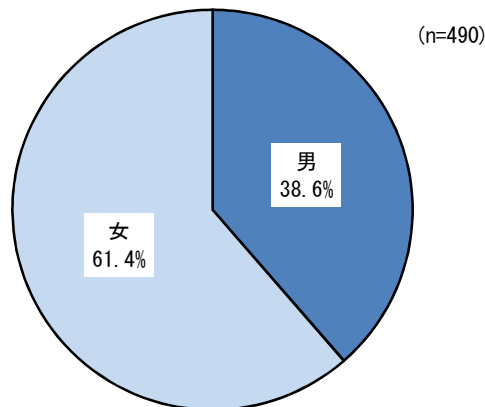
Ⅱ アンケート調査結果

1 あなたご自身のことについて（基本属性）

1-1 性別はどちらですか？

回答者の性別では、「男性」が38.6%、「女性」が61.4%となっている。平成28年末の在留外国人統計（以下「統計」という。）の人口比（男性：44.8%、女性：55.2%）よりも女性の割合がやや高い。

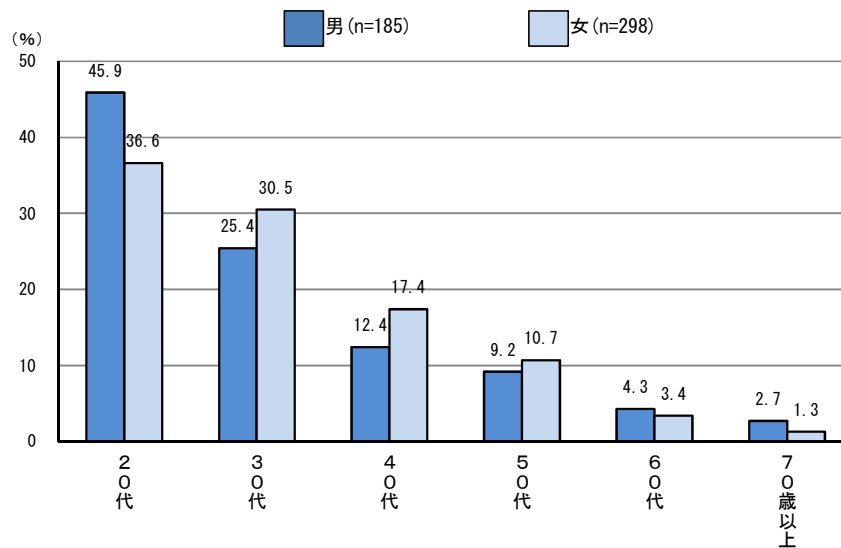
【1-1 性別】



1-2 何歳ですか？

回答者を年代別にみると、「20代」が最も多く、年齢が上がるにつれて少なくなっている。

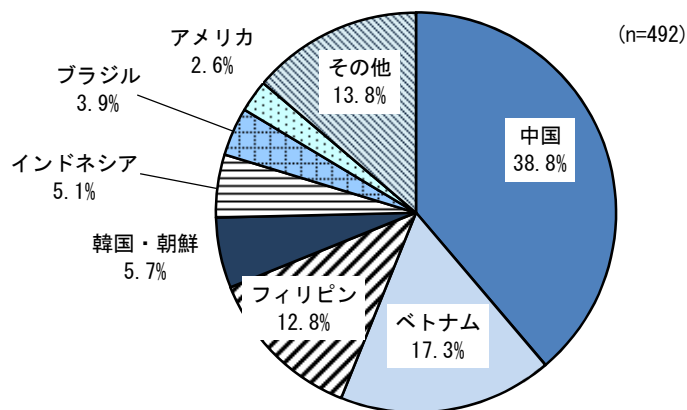
【1-2 年代割合】



1-3 国籍は次のどれですか？

国籍では、「中国」(38.8%)の割合が最も高く、次いで「ベトナム」(17.3%)、「フィリピン」(12.8%)などの順となっている。統計の人口比では、「中国」(33.9%)、「韓国・朝鮮」(22.5%)、「ベトナム」(17.5%)などの順となっており、本調査では「韓国・朝鮮」(5.7%)が低い。

【1-3 国籍】



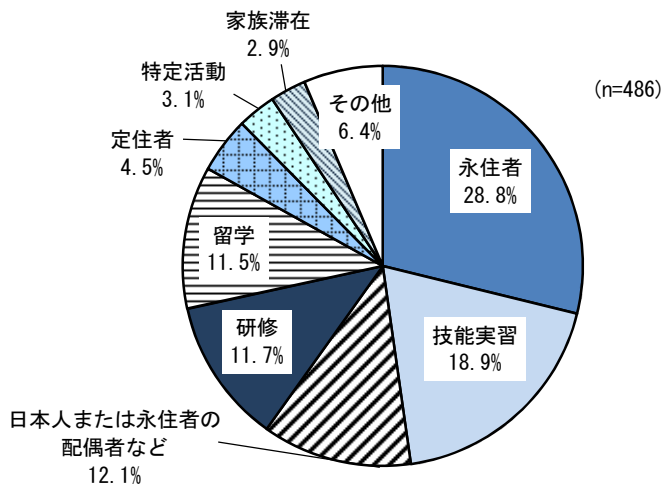
(注) 比率は百分率 (%) で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入し算出しているため、合計が 100% を上下する場合があります。

1-4 在留資格は次のどれですか？

在留資格では、「永住者」(28.8%)の割合が最も高く、次いで「技能実習」(18.9%)、「日本人または永住者の配偶者など」(12.1%)などの順となっている。

国籍と在留資格のクロス表を対応分析にかけた結果では、インドネシア・ベトナムは研修生・技能実習生の割合が高く、中国は留学生の割合が高い。韓国・朝鮮・ブラジル・フィリピンは永住者の割合が高い。

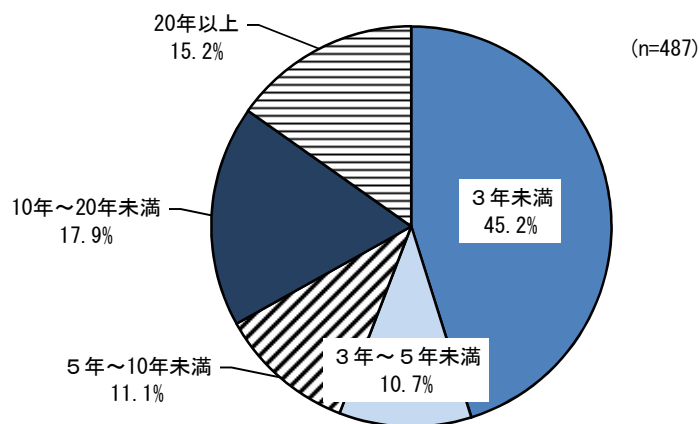
【1-4 在留資格】



1-5 いままで全部で日本にどのくらい住んでいますか？

日本での在住期間では、「3年未満」(45.2%)の割合が最も高く、次いで「10年～20年未満」(17.9%)、「20年以上」(15.2%)などの順となっている。

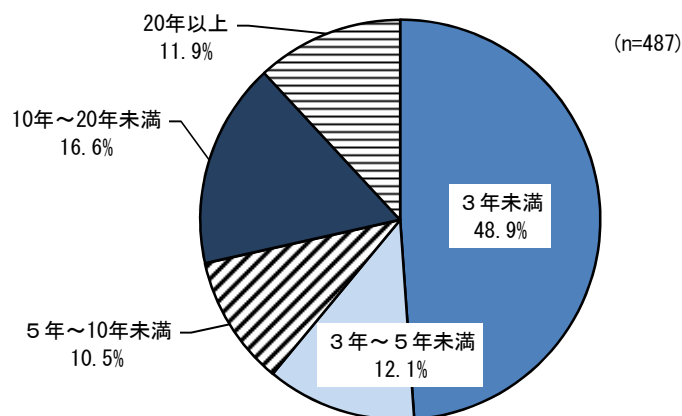
【1-5 日本での在住期間】



1-6 そのうち岡山県に住んでいる期間はどのくらいですか？

岡山県での在住期間では、「3年未満」(48.9%)の割合が最も高く、次いで「10年～20年未満」(16.6%)、「3年～5年未満」(12.1%)などの順となっている。

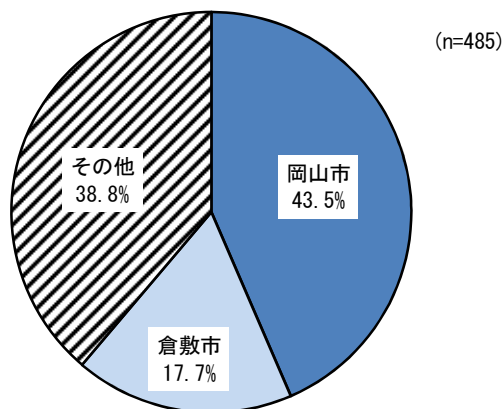
【1-6 岡山県での在住期間】



1-7 いま住んでいる市町村はどちらですか？

県内での居住市町村では、「岡山市」(43.5%)の割合が最も高く、「倉敷市」(17.7%)を合わせると、6割を超える。

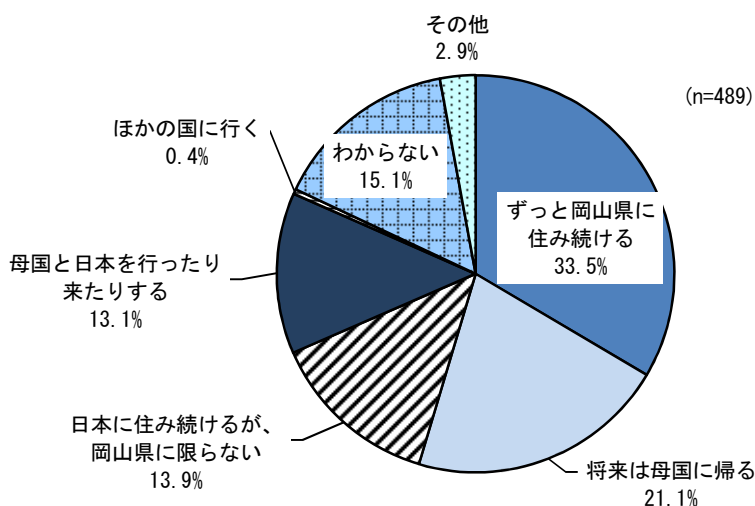
【1-7 居住市町村】



1-8 今後どれくらい岡山県および日本に住もうと思っていますか？(1つに○)

岡山県・日本での定住意向では、「ずっと岡山県に住み続ける」(33.5%)との回答が最も多いものの、「将来は母国に帰る」(21.1%)との回答も多い。

【1-8 岡山県・日本での定住意向】

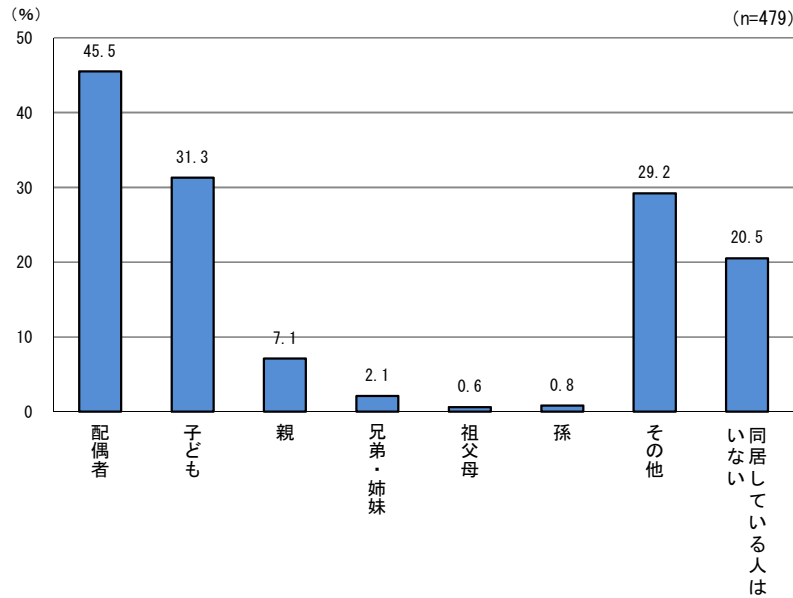


1-9 現在、同居している人はいますか？（あてはまるもの全てに○）

同居者では、「配偶者」（45.5%）の割合が最も高く、次いで「子ども」（31.3%）などの順となっている。一方、約5人に1人は一人暮らしである。

「その他」では友人、同じ会社の人などが多い。

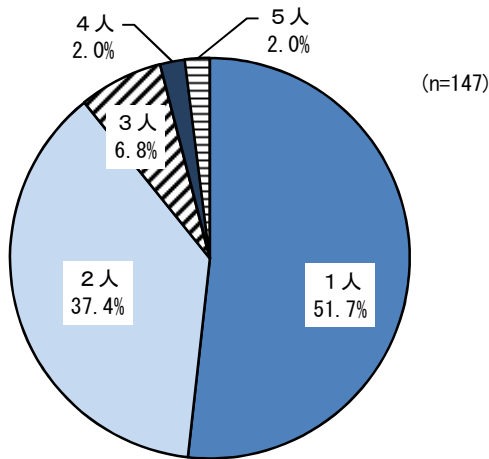
【1-9 同居者】



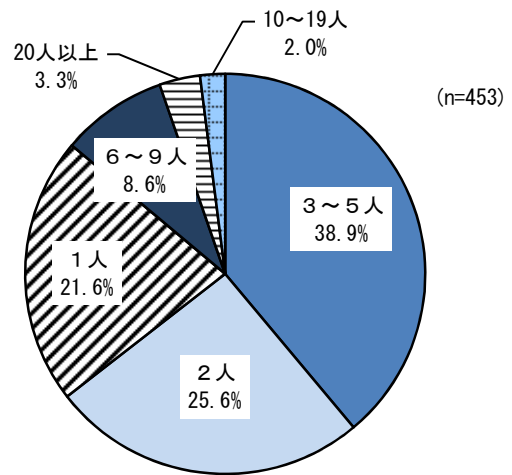
子どもの人数では、「1人」（51.7%）の割合が最も高く、次いで「2人」（37.4%）などの順となっている。

同居者の合計人数では、「3～5人」（38.9%）の割合が最も高く、次いで「2人」（25.6%）、「1人」（21.6%）などの順となっている。

【1-9 子どもの人数】



【1-9 同居者の合計人数】

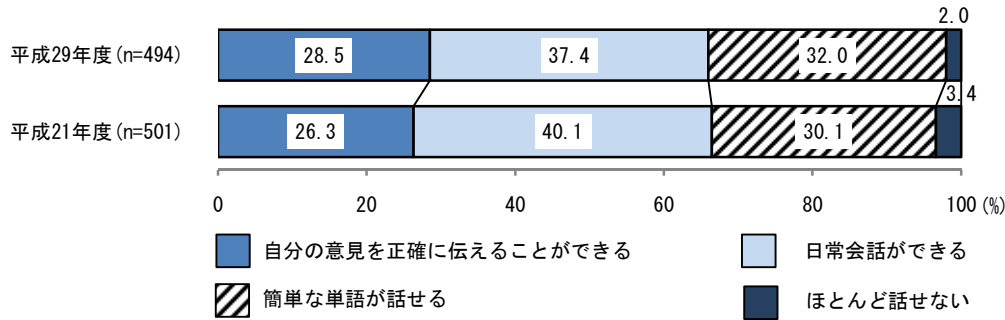


2 使っている言葉について

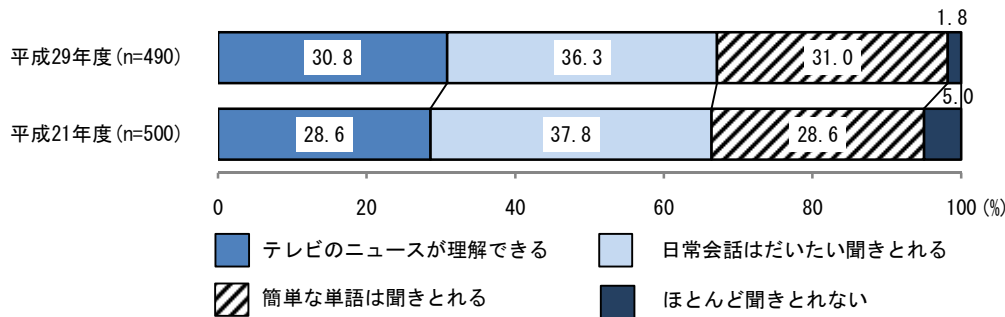
2-1 あなたは日本語がどれくらいできますか？（1つに〇）

「ほとんどできない」との回答は、「話す」「聞く」ではわずかであるのに対し、「読む」「書く」では高くなっているが、4技能とも前回調査より割合は低くなっている。

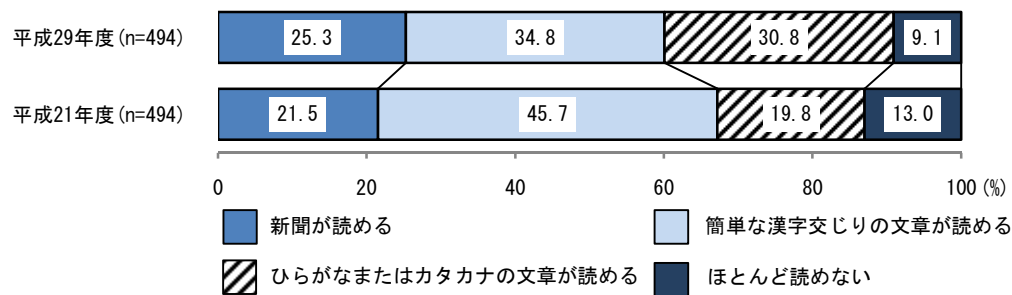
【2-1（1） 話す】



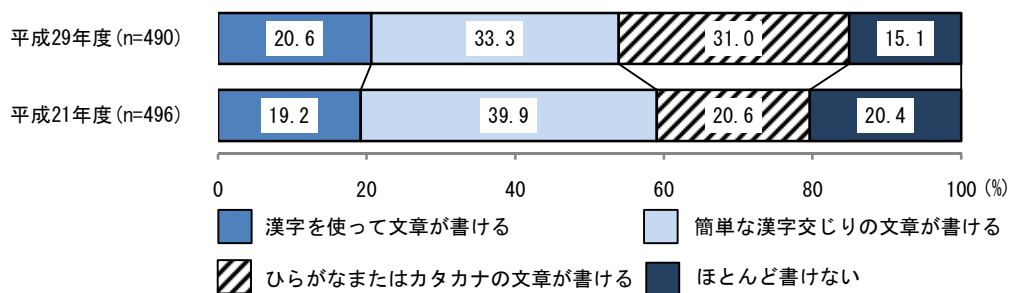
【2-1（2） 聞く】



【2-1（3） 読む】



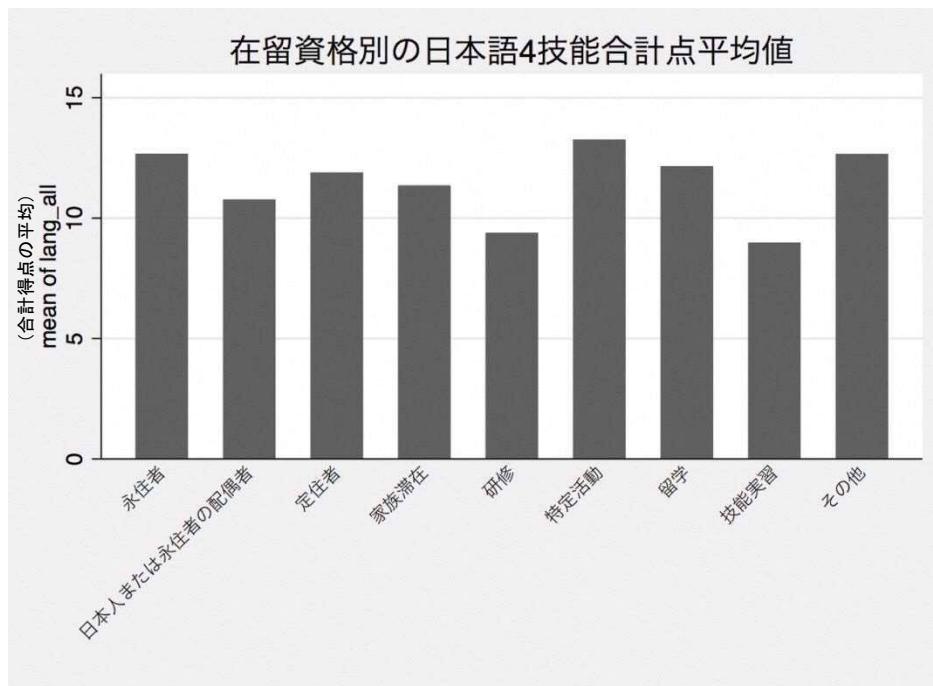
【2-1（4） 書く】



下図は、日本語を「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能それぞれ4段階を点数とみなして合計した値を作成し、在留資格ごとの平均を示している。

短期滞在の研修生や技能実習生の平均点が低いものの、カテゴリによる著しい差があるわけではない。

【日本語能力と在留資格】

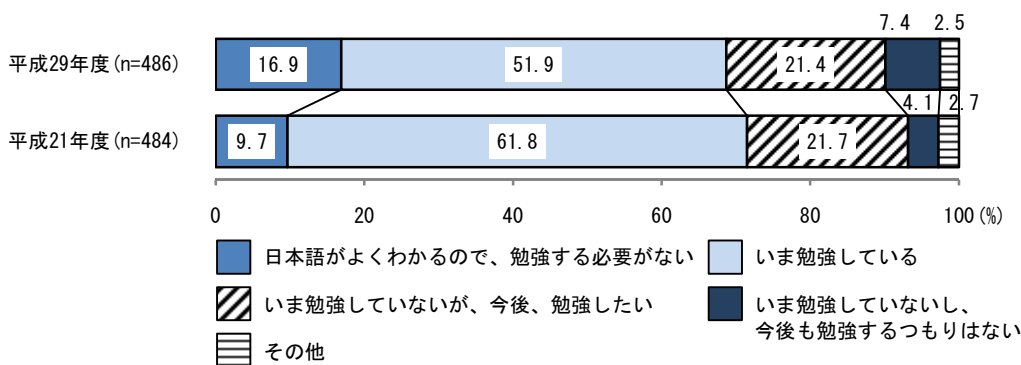


2-2 あなたは日本語を勉強していますか？（1つに○）

日本語の勉強では、「いま勉強している」（51.9%）と「今後勉強したい」（21.4%）を合わせると、7割超と高い。

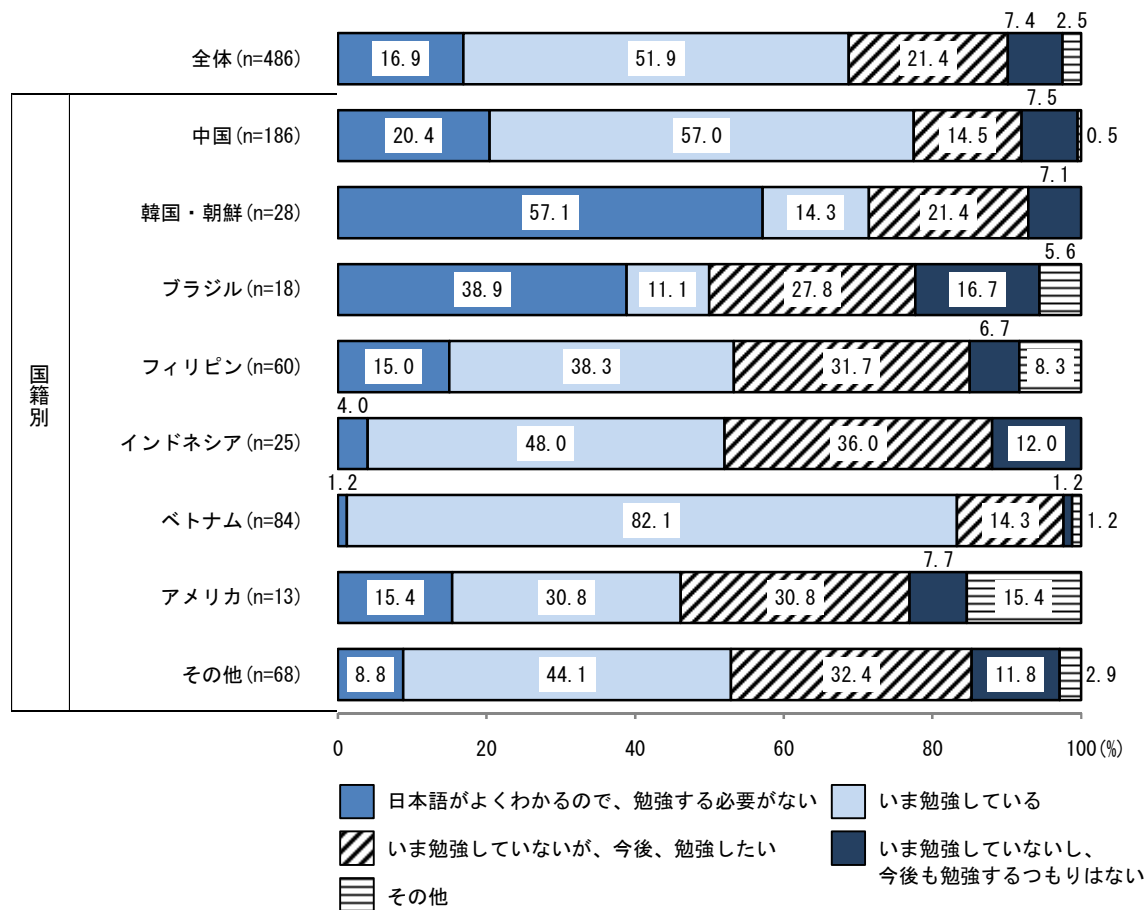
経年比較すると、「よくわかるので勉強する必要がない」との回答は前回調査を7.2ポイント上回っている。

【2-2 日本語の勉強】



日本語の勉強について、国籍別にみると、韓国・朝鮮では「勉強する必要がない」との回答が多く、ベトナムでは「いま勉強している」との回答が多い。

【2-2 日本語の勉強（国籍別）】

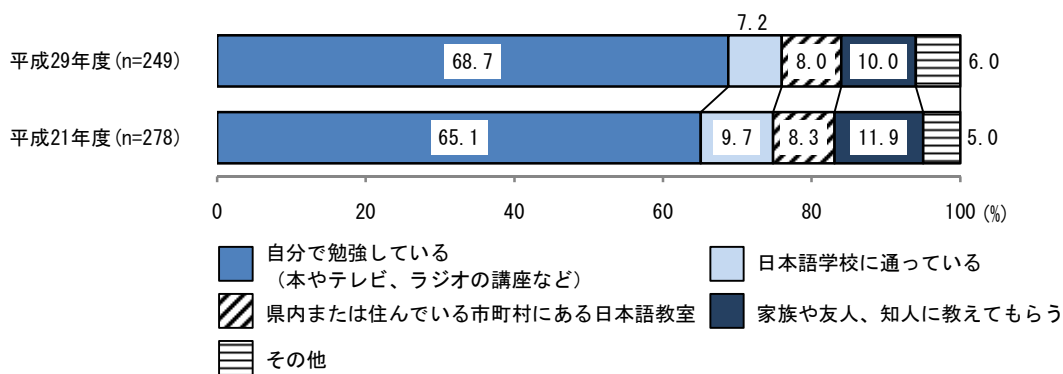


2-3 上の2-2の質問で2.を選んだ方におたずねします。あなたは現在どのような方法で日本語の勉強をしていますか？（1つに○）

日本語の勉強方法では、日本語を独学で勉強している人は約7割と高く、日本語学校や日本語教室で勉強している人は2割未満で低い。

関連する他の調査項目をみると、行政等による日本語教室の認知度及び利用頻度は高くない（11-1）。仕事等のために「勉強する時間がない」という理由であることが推測される（2-4）。その結果、行政・支援団体のサービスについて、「日本語教室の充実」よりも「交流イベントの拡充」がニーズとして増大していることにも現れているのかもしれない（11-2）。

【2-3 日本語の勉強方法】

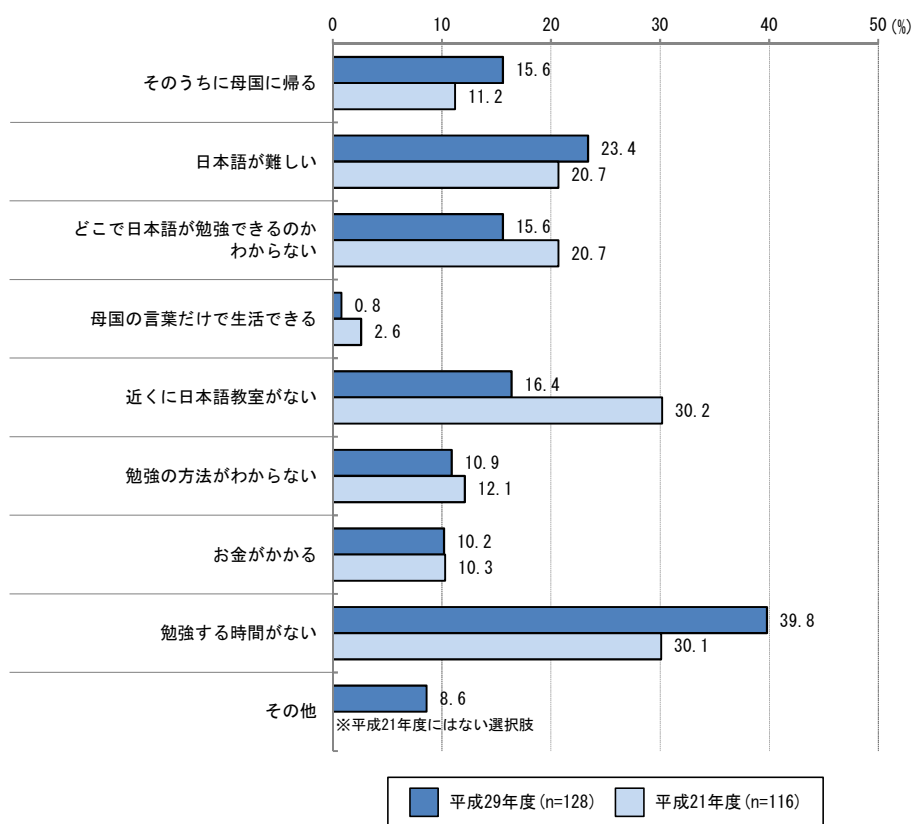


2-4 上の2-2の質問で3.または4.を選んだ方におたずねします。いま勉強していない理由を教えてください。（あてはまるもの3つまでに○）

日本語を勉強していない理由では、「勉強する時間がない」（39.8%）との回答が最も多く、次いで「日本語が難しい」（23.4%）、「近くに日本語教室がない」（16.4%）などの順となっている。

経年比較でみると、「勉強する時間がない」との回答は前回調査を9.7ポイント上回っている。一方、「どこで日本語が勉強できるのかわからない」との回答は前回調査を5.1ポイント、「近くに日本語教室がない」との回答は前回調査を13.8ポイント下回っている。

【2-4 日本語を勉強しない理由】



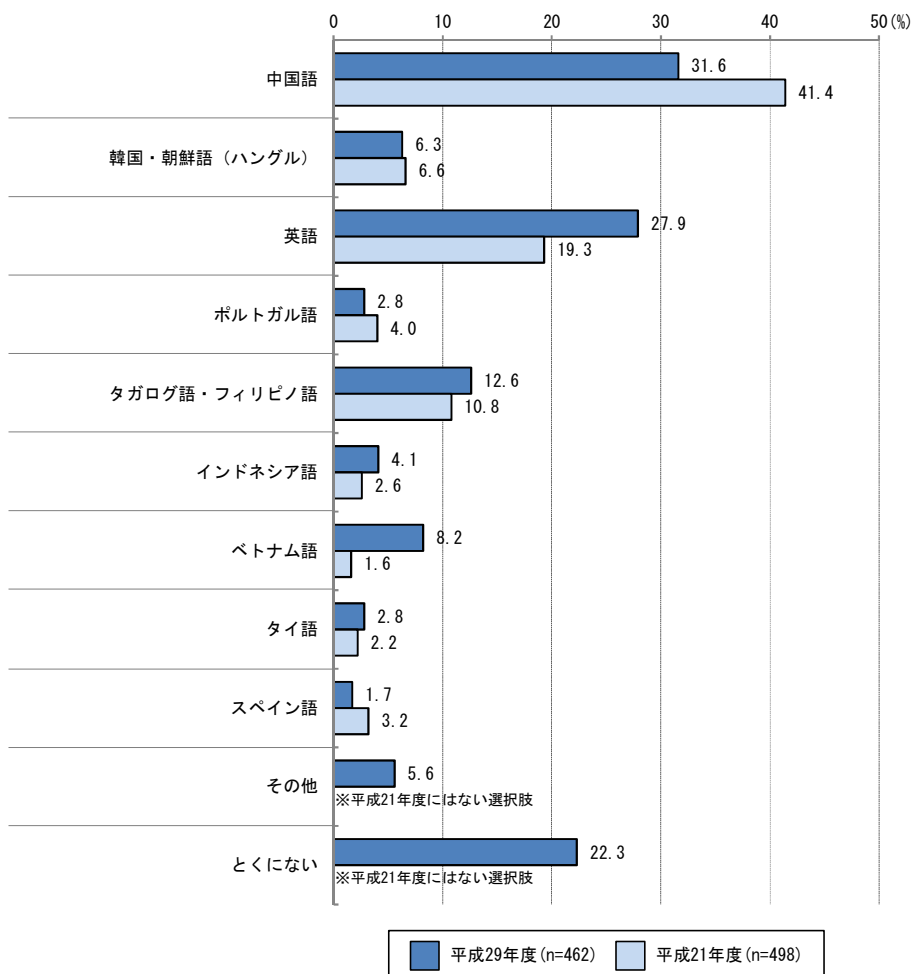
2-5 日本語以外の言葉（母国語を含む）で、ほとんど不自由なく使える言葉がありますか？

（あてはまるもの全てに○）

日本語以外の語学能力では、「中国語」（31.6%）が最も多く、次いで「英語」（27.9%）などの順となっている。

経年比較すると、「英語」は前回調査を8.6ポイント、「ベトナム語」は前回調査を6.6ポイント上回っている。一方、「中国語」は前回調査を9.8ポイント下回っている。

【2-5 日本語以外の語学能力】



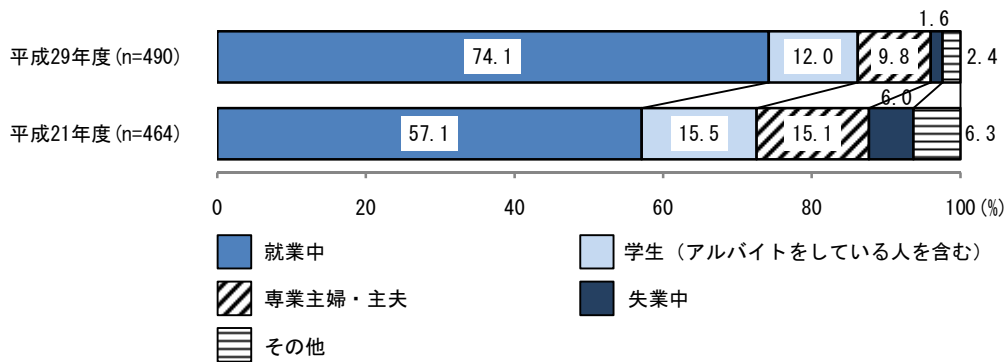
3 仕事について

3-1 あなたは仕事をしていますか？（1つに○）

就業状況では、「就業者」（74.1%）の割合が最も高く、次いで「学生」（12.0%）、「専業主婦・主夫」（9.8%）などの順となっている。

経年比較すると、「就業者」は前回調査を17.0ポイント上回っている。一方、「専業主婦・主夫」は前回調査を5.3ポイント下回っている。

【3-1 就業状況】

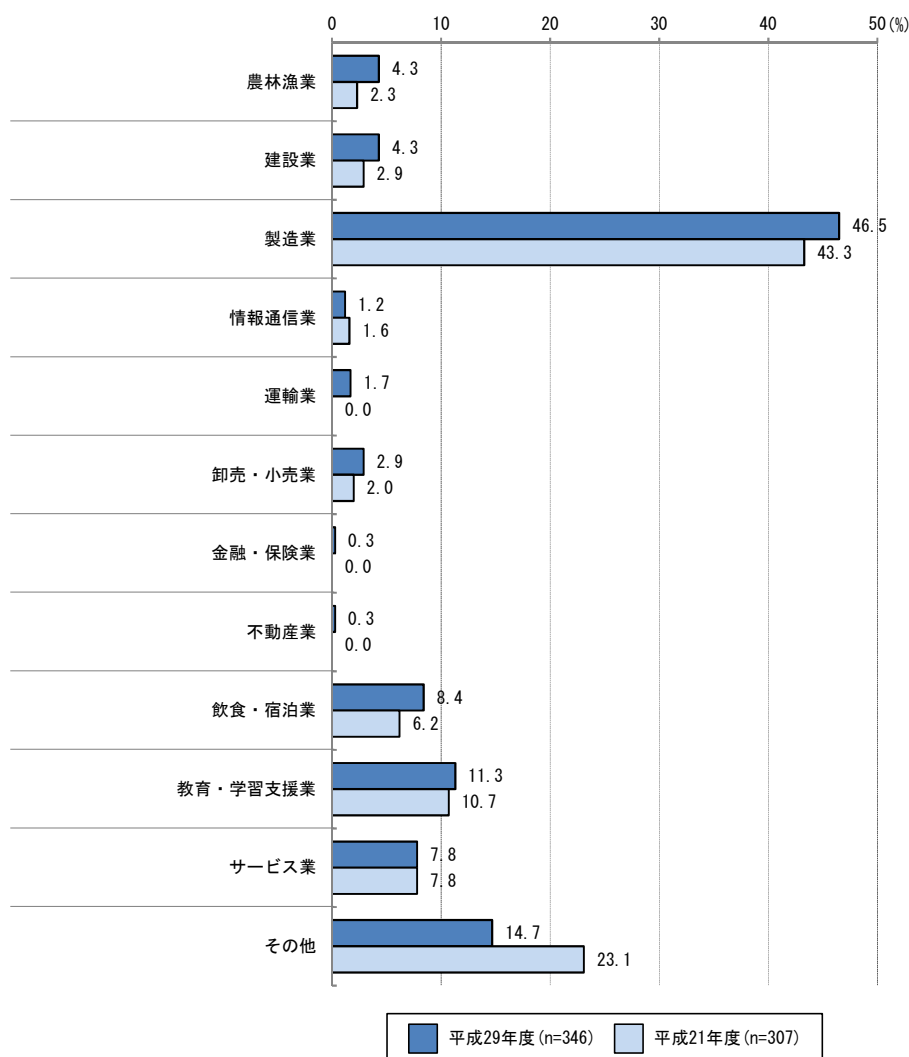


3-2 上の3-1の質問で1.を選んだ方におたずねします。

(1) あなたの仕事は次のどれですか？(あてはまるもの全てに○)

仕事の業種では、「製造業」(46.5%)の割合が最も高く、次いで「教育・学習支援業」(11.3%)、「飲食・宿泊業」(8.4%)、「サービス業」(7.8%)などの順となっている。

【3-2 (1) 仕事の業種】



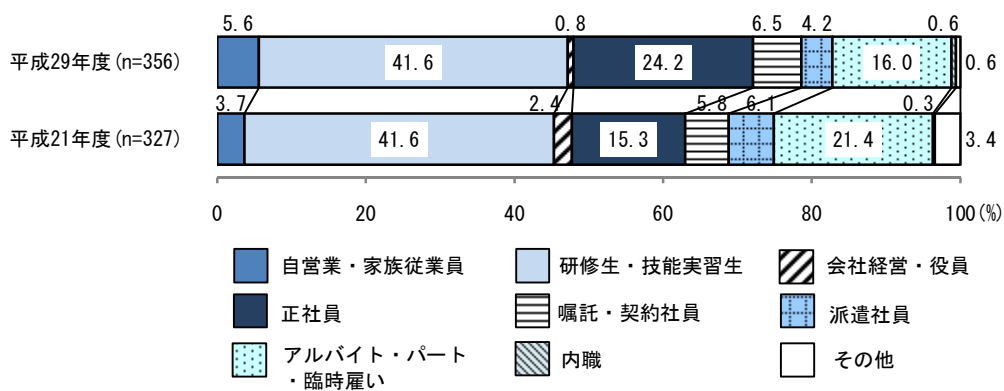
(2) あなたはどのように働いていますか？（1つに○）

就業形態では、「研修生・技能実習生」（41.6%）の割合が最も高く、次いで「正社員」（24.2%）、「アルバイト・パート・臨時雇い」（16.0%）などの順となっている。

経年比較すると、「正社員」は前回調査を8.9%上回っている。一方、「アルバイト・パート・臨時雇い」は前回調査を5.4ポイント下回っている。

関連する他の調査項目をみると、研修生・技能実習生の割合が高いという点は、調査対象者の基本属性として短期の単身世帯が多いことと軌を一にする。こうした層は、仕事での不満として「会社の人とコミュニケーションができない」といった言語上の問題を抱えており（3-2（6））、次項目（子育て・教育）が関連する層とは、問題状況を異にしていると考えられる。

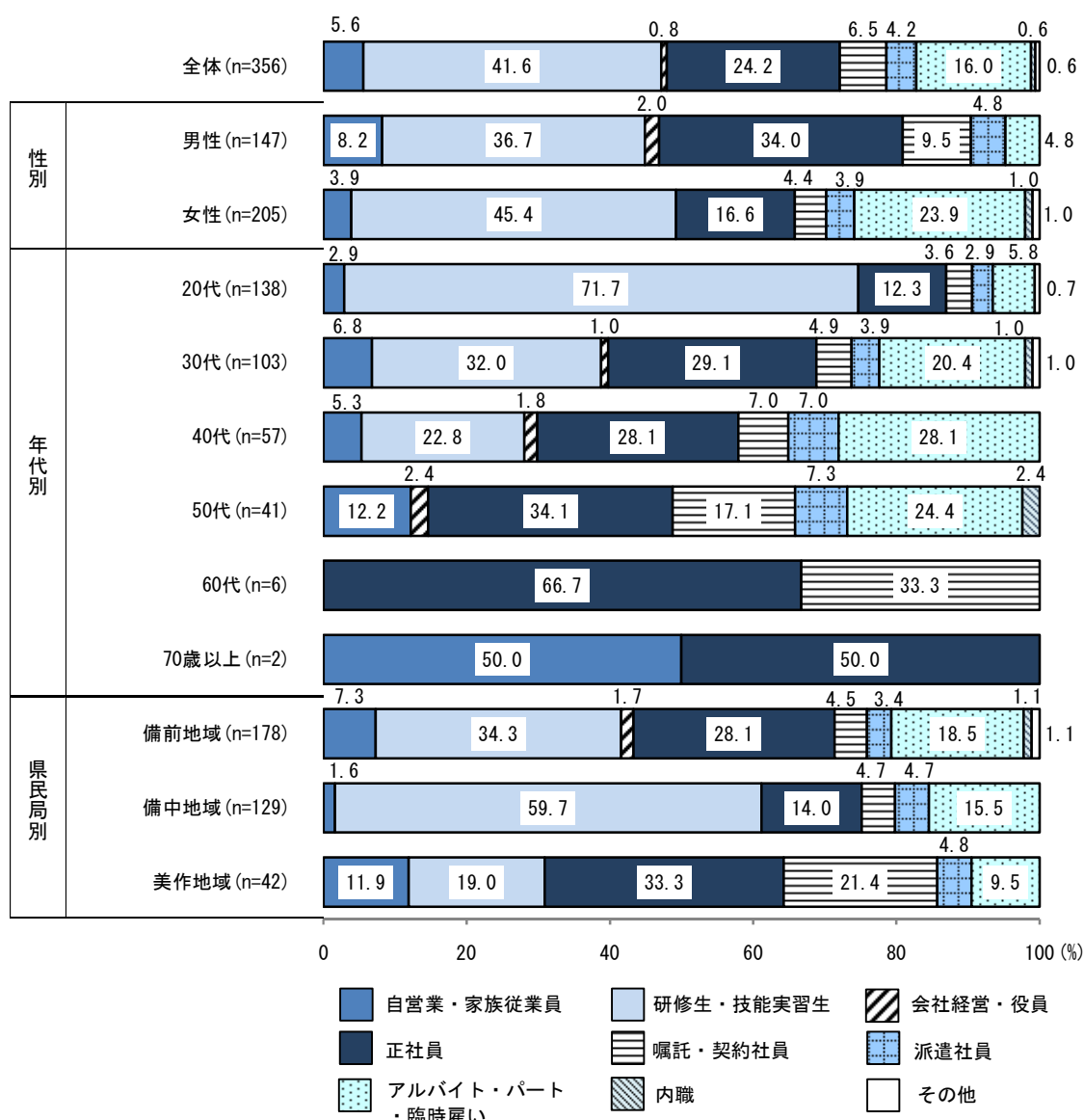
【3-2（2） 就業形態】



さらに、就業形態を性別にみると、「正社員」の割合は男性（34.0%）が女性（16.6%）を17.4ポイント、「嘱託・契約社員」の割合は男性（9.5%）が女性（4.4%）を5.1ポイント上回っている。一方、「研修生・技能実習生」の割合は女性（45.4%）が男性（36.7%）を8.7ポイント、「アルバイト・パート・臨時雇い」の割合は女性（23.9%）が男性（4.8%）を19.1ポイント上回っている。

また、年代別にみると、「研修生・技能実習生」の割合は20代で7割超と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなっている。一方、「正社員」の割合は60代で6割台半ばと最も高く、年齢が上がるにつれて高くなっている。

【3-2（2） 就業形態（性別・年代別・県民局別）】

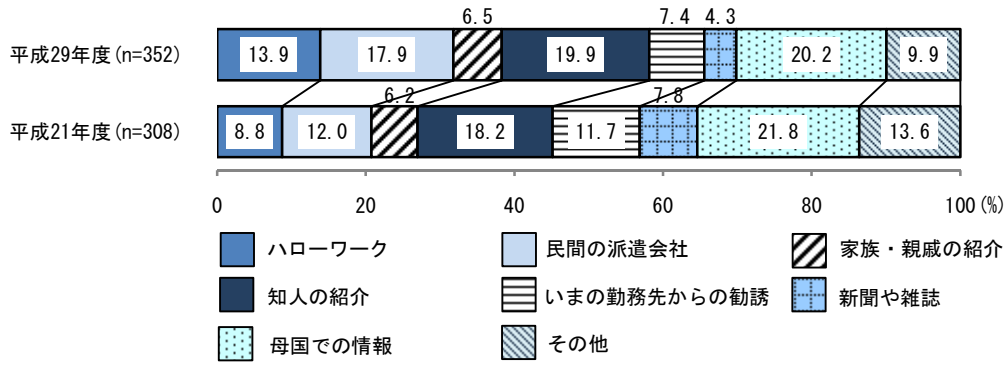


(3) いまの仕事をどうやって見つけましたか？（1つに○）

仕事の見つけ方では、「母国での情報」（20.2%）の割合が最も高く、次いで「知人の紹介」（19.9%）、「民間の派遣会社」（17.9%）などの順となっている。

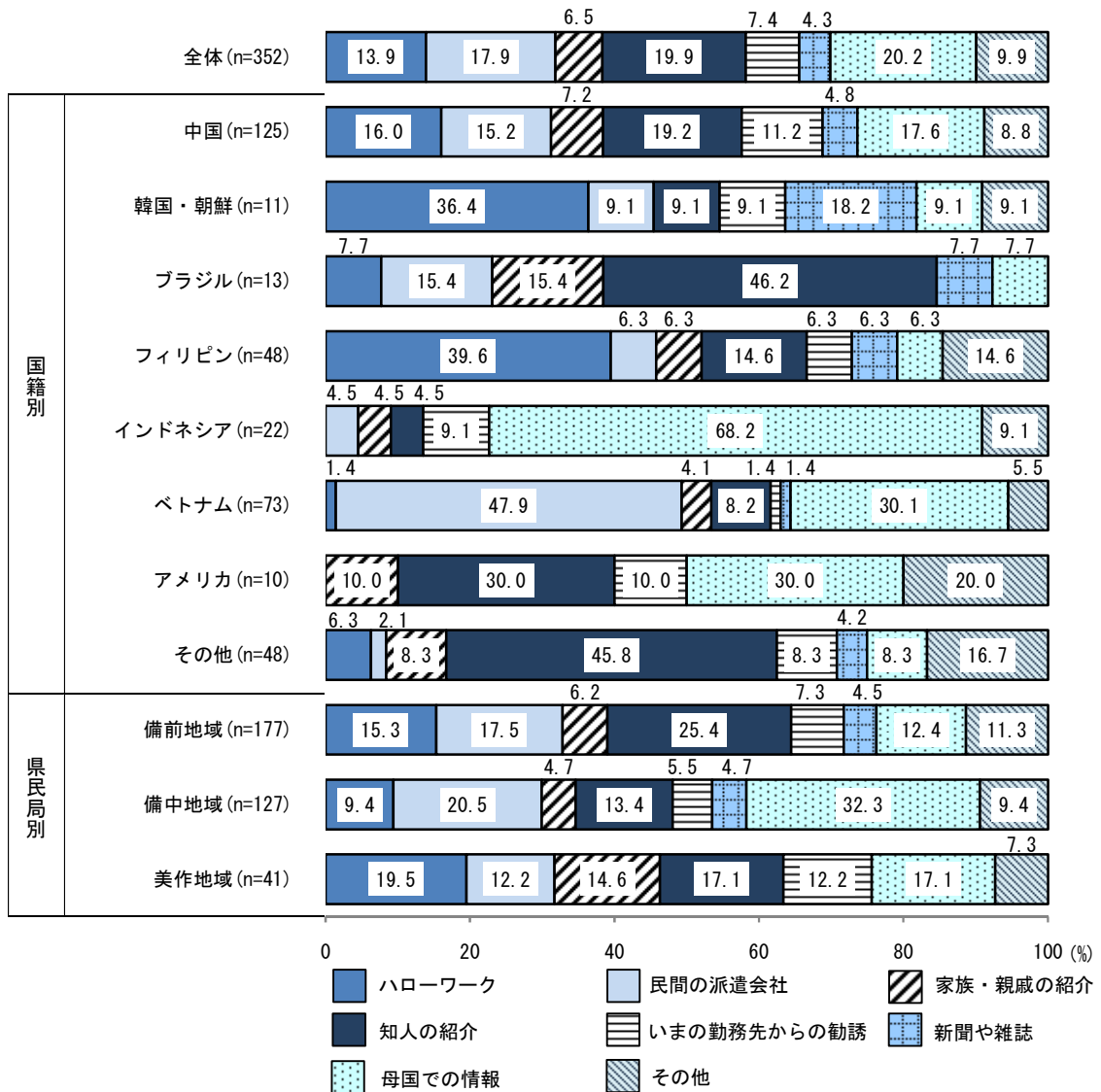
経年比較すると、「ハローワーク」「民間の派遣会社」の割合が増えている。

【3-2（3） 仕事の見つけ方】



仕事の見つけ方を国籍別にみると、フィリピンでは「ハローワーク」の割合が高く、ベトナムでは「民間の派遣会社」の割合が高い。

【3-2 (3) 仕事の見つけ方 (国籍別・県民局別)】



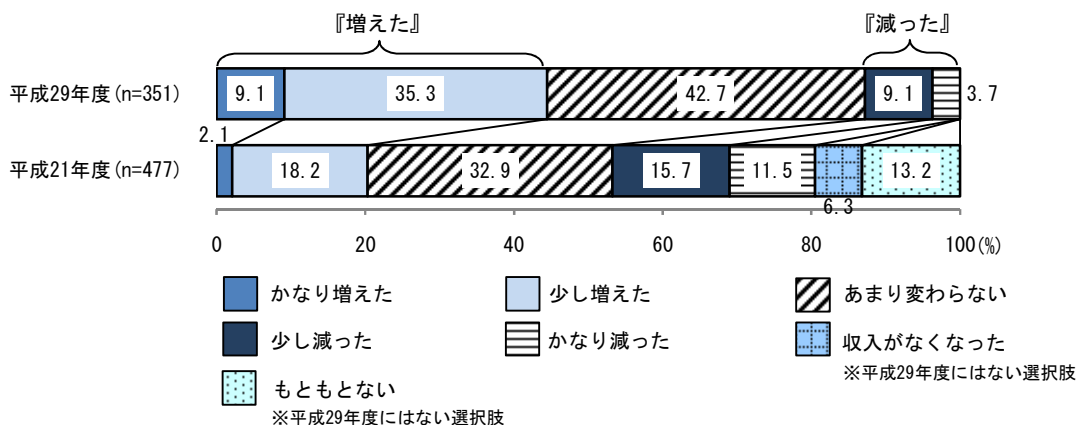
(4) 一年前と比べて、現在のあなたの収入はどう変わりましたか？（1つに○）

一年前と比べた収入の変化では、『増えた』（「かなり増えた」と「少し増えた」を合わせた割合）が44.4%、『減った』（「かなり減った」と「少し減った」を合わせた割合）が12.8%となっている。

経年比較すると、『増えた』は前回調査を24.1ポイント上回っている。

在留資格とのクロス表を対応分析にかけた結果では、全体として「少し増えた」「変わらない」が多いが、なかでも研修生で『増えた』とする割合が高く、技能実習生がそれに次いでいる。一方、永住者では「あまり変わらない」「かなり減った」とする割合が高く、二分されている。

【3-2（4） 収入の変化】



(5) 一年前と比べて、現在のあなたの仕事の量はどう変わりましたか？（1つに○）

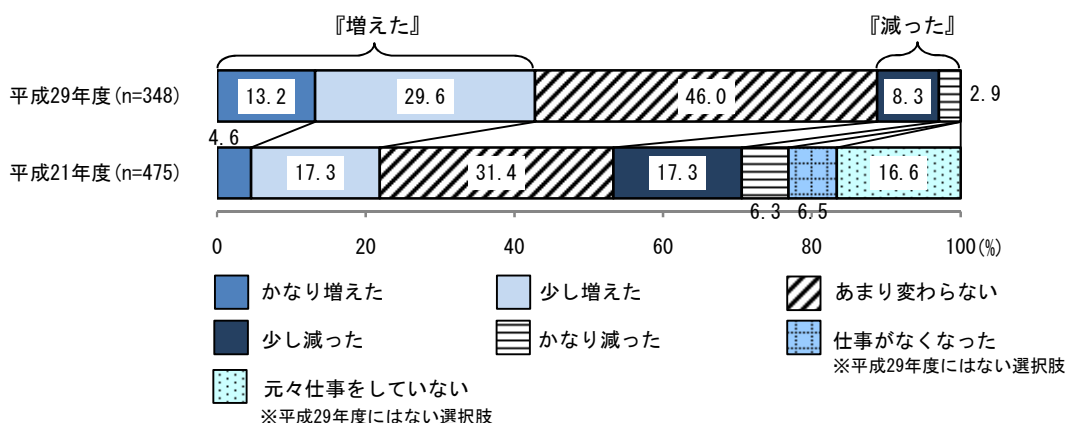
一年前と比べた仕事量の変化では、『増えた』は42.8%、『減った』は11.2%となっている。

経年比較すると、『増えた』は前回調査を20.9ポイント上回っている。

在留資格とのクロス表を対応分析にかけた結果では、全体としては「かなり増えた」「少し増えた」「あまり変わらない」で9割弱を占めるが、技能実習生で「かなり増えた」の割合が高いこと以外には、在留資格による違いはみられない。

収入の変化と仕事量の変化には相応の関連があり、仕事が増えれば収入もそれに応じて増えるということを示している。

【3-2（5） 仕事量の変化】

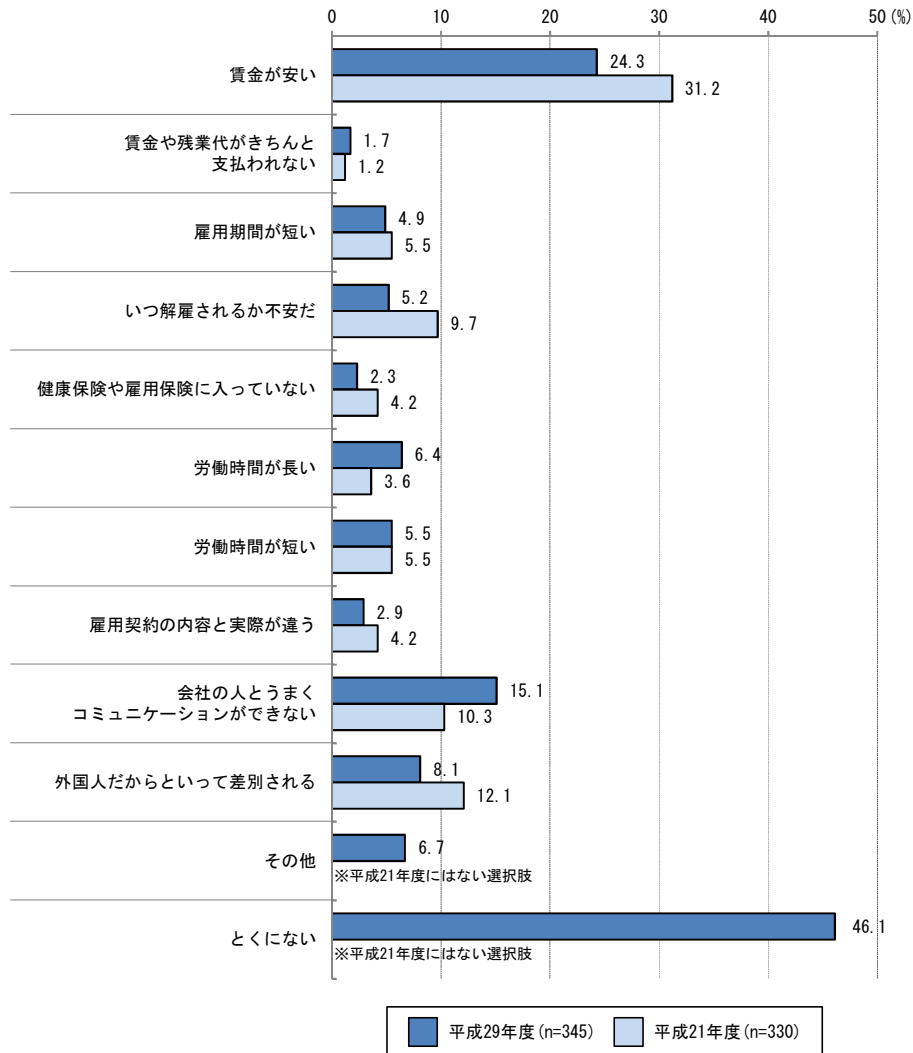


(6) いまの仕事で不満に思うことは何ですか？（あてはまるもの3つまでに○）

仕事での不満では、「とくにない」が約半数と最も多い。

不満の内容では、「賃金が安い」（24.3%）との回答が最も多く、次いで「会社の人とうまくコミュニケーションができない」（15.1%）などの順となっている。

【3-2（6） 仕事での不満】



仕事での不満を国籍別にみると、中国では「賃金が安い」、ベトナムでは「会社の人とうまくコミュニケーションができない」との回答が多い。

日本での在住期間別にみると、「3年未満」では「会社の人とうまくコミュニケーションができない」との回答が最も多く、在住期間が長くなるにつれて少なくなっている。

【3-2 (6) 仕事での不満 (国籍別・日本での在住期間別)】

		賃金が安い	賃金や残業代がきちんと支払われない	雇用期間が短い	いつ解雇されるか不安だ	健康保険や雇用保険に入っていない	労働時間が長い	労働時間が短い	雇用契約の内容と実際が違う	会社の人とうまくコミュニケーションができない	外国人だからといって差別される	その他	とくにない
全体 (n=345)		24.3	1.7	4.9	5.2	2.3	6.4	5.5	2.9	15.1	8.1	6.7	46.1
国籍別	中国 (n=124)	29.0	0.8	6.5	3.2	2.4	9.7	6.5	2.4	10.5	7.3	5.6	46.0
	韓国・朝鮮 (n=11)	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.6
	ブラジル (n=12)	25.0	0.0	8.3	25.0	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	50.0
	フィリピン (n=46)	19.6	0.0	2.2	13.0	2.2	4.3	2.2	2.2	4.3	4.3	8.7	50.0
	インドネシア (n=22)	18.2	0.0	4.5	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0	13.6	4.5	4.5	68.2
	ベトナム (n=70)	20.0	2.9	4.3	4.3	1.4	0.0	8.6	4.3	38.6	8.6	2.9	34.3
	アメリカ (n=10)	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0	30.0	40.0
	その他 (n=48)	29.2	4.2	6.3	2.1	4.2	6.3	6.3	4.2	8.3	18.8	12.5	43.8
日本での在住期間別	3年未満 (n=159)	21.4	1.3	6.3	1.3	1.3	1.9	8.8	1.3	25.2	7.5	3.8	49.7
	3年～5年未満 (n=32)	21.9	6.3	6.3	3.1	0.0	6.3	0.0	9.4	9.4	6.3	6.3	43.8
	5年～10年未満 (n=41)	36.6	2.4	0.0	12.2	2.4	9.8	4.9	2.4	4.9	12.2	14.6	31.7
	10年～20年未満 (n=61)	26.2	0.0	3.3	8.2	1.6	11.5	4.9	3.3	4.9	8.2	8.2	49.2
	20年以上 (n=46)	23.9	2.2	6.5	10.9	8.7	13.0	0.0	4.3	4.3	6.5	8.7	41.3

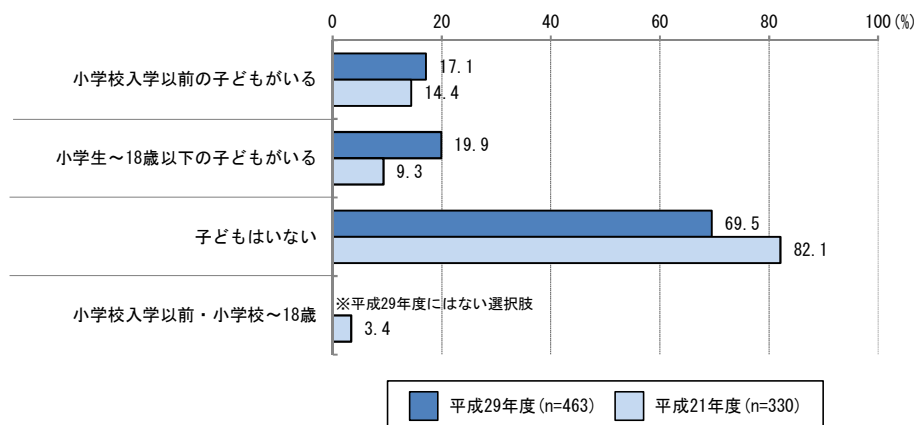
4 子育てと教育について

4-1 あなたは、いま日本に18歳以下の子どもがいますか？（あてはまるもの全てに○）

18歳以下の子どもの有無では、回答者に若い世代や研修生が多いことから、「子どもはいない」割合が69.5%と最も高い。

経年比較すると、「小学生～18歳以下の子どもがいる」割合は前回調査を10.6ポイント上回っている。一方、「子どもはいない」割合は前回調査を12.6ポイント下回っている。

【4-1 18歳以下の子どもの有無】



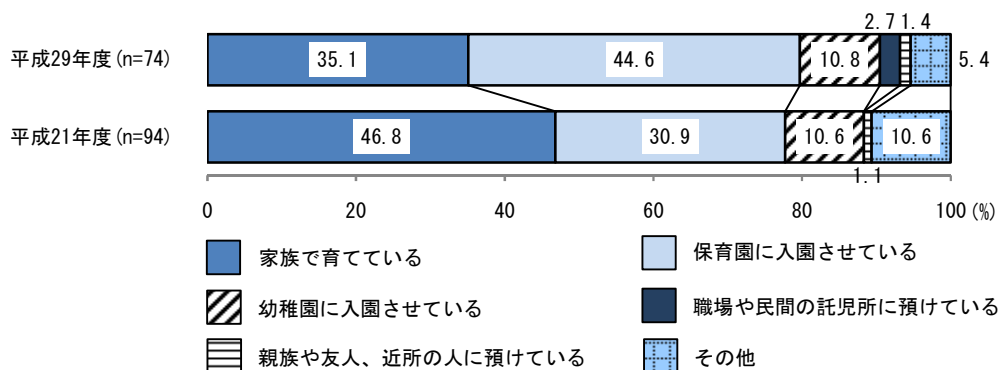
4-2 上の4-1の質問で1.を選んだ方におたずねします。

(1) あなたは主にどのような方法で子育てをしていますか？（1つに○）

主な子育ての方法では、「保育園に入園させている」(44.6%)割合が最も高く、次いで「家族で育てている」(35.1%)、「幼稚園に入園させている」(10.8%)などの順となっている。

経年比較すると、「保育園に入園させている」割合は前回調査を13.7ポイント上回っている。一方、「家族で育てている」割合は前回調査を11.7ポイント下回っている。

【4-2 (1) 主な子育ての方法】



(2) 日本での子育てで過去に困ったことや現在困っていることがありますか？

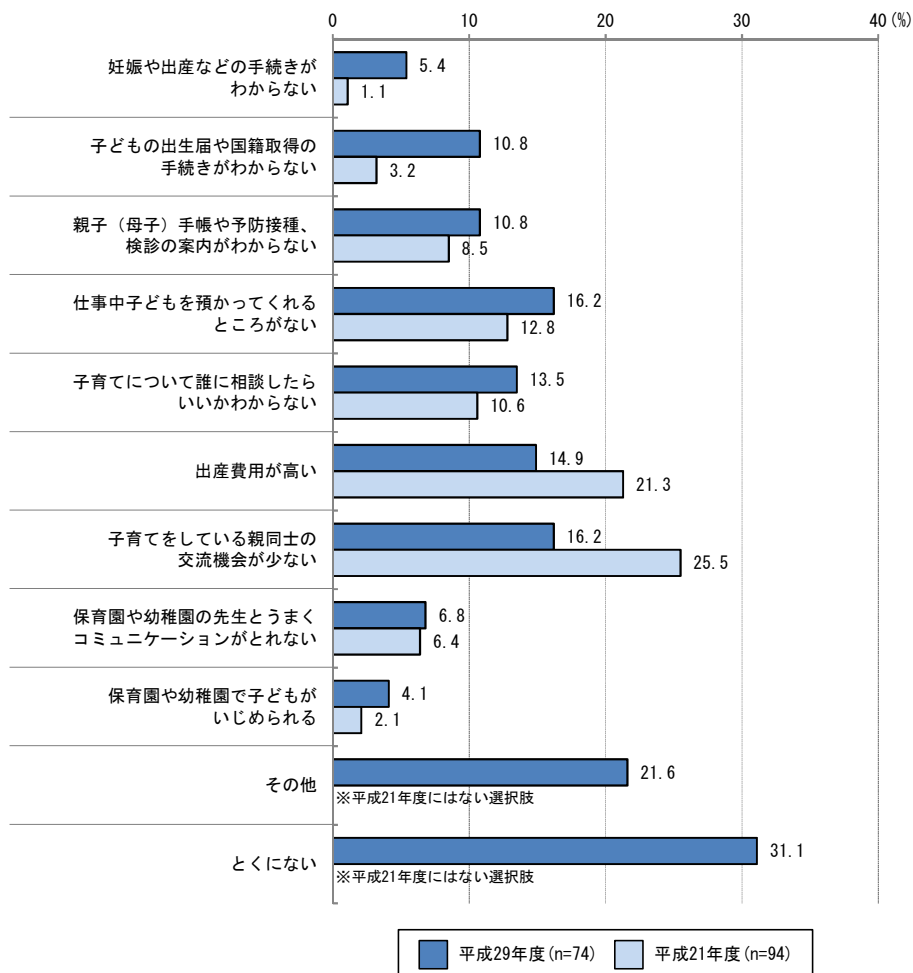
(あてはまるもの3つまでに○)

子育てでの困りごとでは、「とくにない」が31.1%と最も多い。

困りごとの内容では、「工作中子どもを預かってくれるところがない」「子育てをしている親同士の交流機会が少ない」(16.2%)との回答が最も多く、次いで「出産費用が高い」(14.9%)、「子育てについて誰に相談したらいいかわからない」(13.5%)などの順となっている。「その他」では「子どもが保育園などに入れない」という回答が最も多い。

経年比較すると、「子どもの出生届や国籍取得の手続きがわからない」との回答は前回調査を7.6ポイント上回っている。一方、「出産費用が高い」との回答は前回調査を6.4ポイント、「子育てをしている親同士の交流機会が少ない」との回答は前回調査を9.3ポイント下回っている。

【4-2 (2) 子育てでの困りごと】



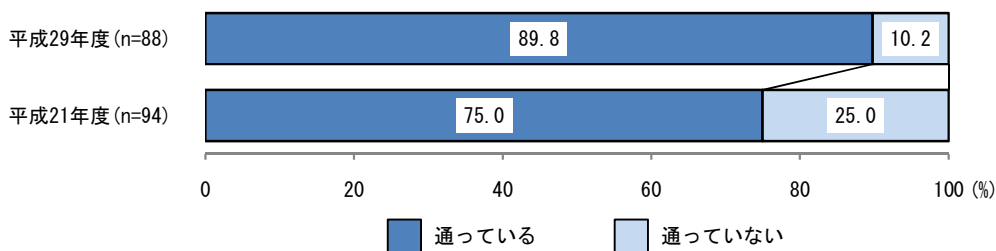
4-3 上の4-1の質問で2.を選んだ方におたずねします。

(1) 子どもは日本の学校に通っていますか？

日本の学校への通学状況では、「通っている」割合が89.8%、「通っていない」割合が10.2%となっている。

経年比較すると、「通っている」割合は前回調査を14.8ポイント上回っている。

【4-3 (1) 日本の学校への通学状況】

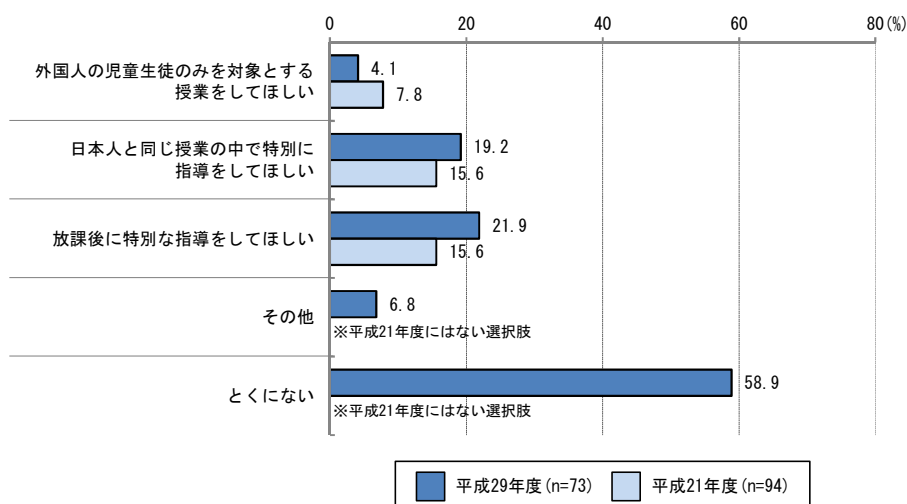


(2) 上の(1)の質問で1.を選んだ方におたずねします。あなたが日本の学校に望むことは何ですか？(あてはまるもの全てに○)

日本の学校への要望では、「とくにない」が58.9%と最も多い。

要望の内容では、「放課後に特別な指導をしてほしい」(21.9%)との回答が最も多く、次いで「日本人と同じ授業の中で特別に指導をしてほしい」(19.2%)、「外国人の児童生徒のみを対象とする授業をしてほしい」(4.1%)の順となっている。

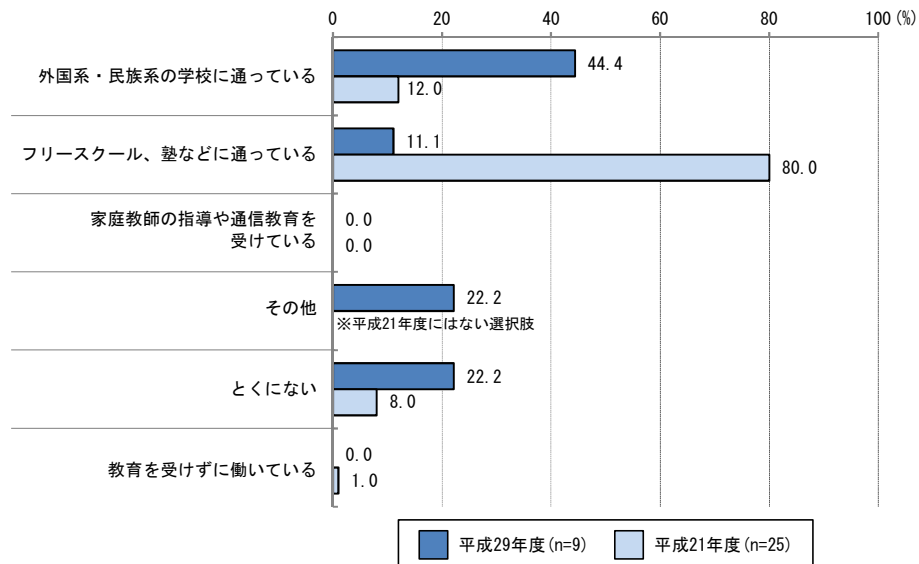
【4-3 (2) 日本の学校への要望】



(3) 上の(1)の質問で2.を選んだ方におたずねします。あなたの子どもは主にどのような教育を受けていますか？(あてはまるもの全てに○)

日本の学校以外の学習状況では、「外国系・民族系学校に通っている」割合が44.4%、「フリースクール、塾などに通っている」割合が11.1%となっている。

【4-3 (3) 日本の学校以外の学習状況】

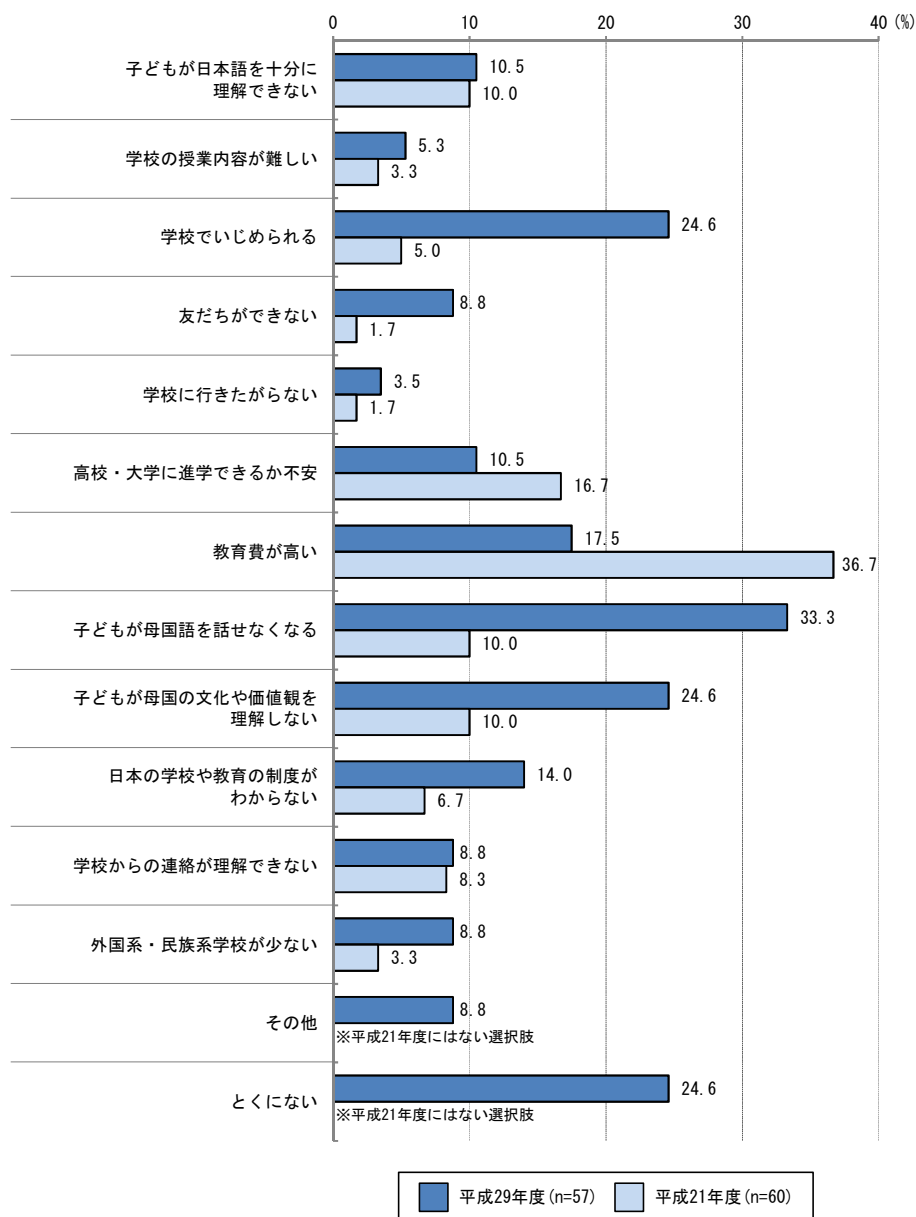


(4) 上の4-1の質問で2.を選んだ方におたずねします。あなたが子どもの教育について心配することは何ですか？（あてはまるもの3つまでに○）

教育での心配ごとでは、「子どもが母国語を話せなくなる」（33.3%）との回答が最も多く、次いで「学校でいじめられる」、「子どもが母国の文化や価値観を理解しない」（24.6%）などの順となっている。また、「とくにない」も24.6%と多い。

背景には、子育て世帯の定住化の傾向があり、子育ての困りごとでは3割が「とくにない」（4-2（2））、日本の学校への要望も6割が「とくにない」（4-3（2））としていることとの関連性がうかがえる。その結果として、児童にとっての母国の言語や文化の理解に対する懸念が上昇しているものと推測できる。

【4-3（4） 教育での心配ごと】



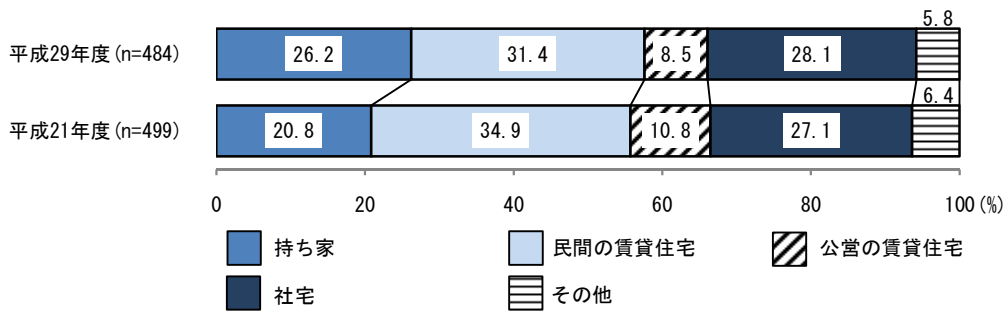
5 住宅について

5-1 あなたはどのような家に住んでいますか？（1つに○）

現在の住居では、「民間の賃貸住宅」（31.4%）の割合が最も高く、次いで「社宅」（28.1%）、「持ち家」（26.2%）などの順となっている。

経年比較すると、「持ち家」の割合は前回調査を5.4ポイント上回り、「収入の増加」と「正社員化」との関係が深いと思われる。

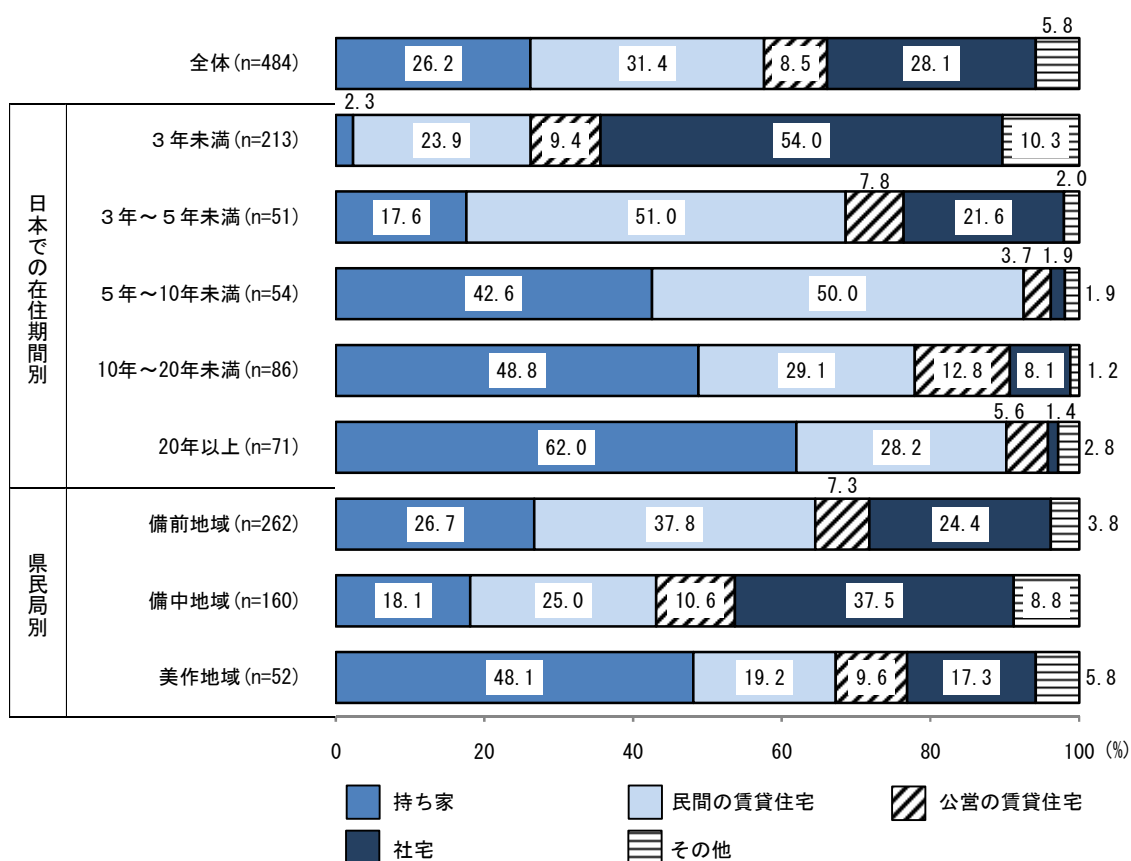
【5-1 現在の住居】



現在の住居を日本での在住期間別にみると、20年以上では「持ち家」の割合が6割を超え、在住期間が長くなるほど高くなっている。また、3年未満では「社宅」の割合が過半数を占める。

県民局別にみると、美作地域では「持ち家」の割合が高い。

【5-1 現在の住居（日本での在住期間別・県民局別）】

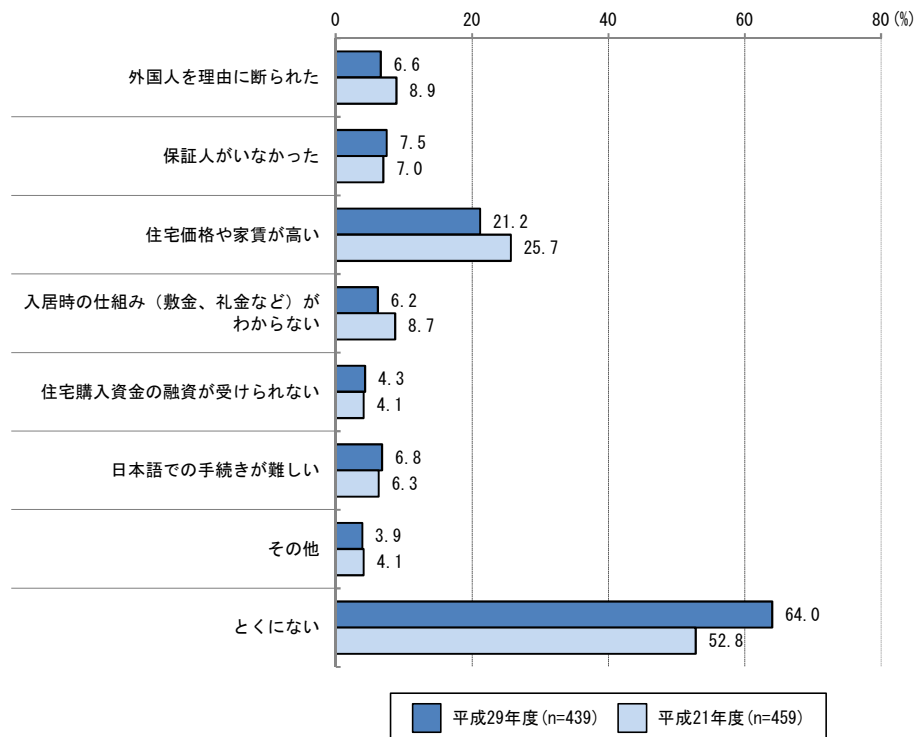


5-2 住宅に関して困ったことは何ですか？（あてはまるもの全てに○）

住宅での困りごとでは、「とくにない」が64.0%と最も多い。

また、困りごとの内容では、「住宅価格や家賃が高い」との回答が21.2%と最も多い。

【5-2 住宅での困りごと】



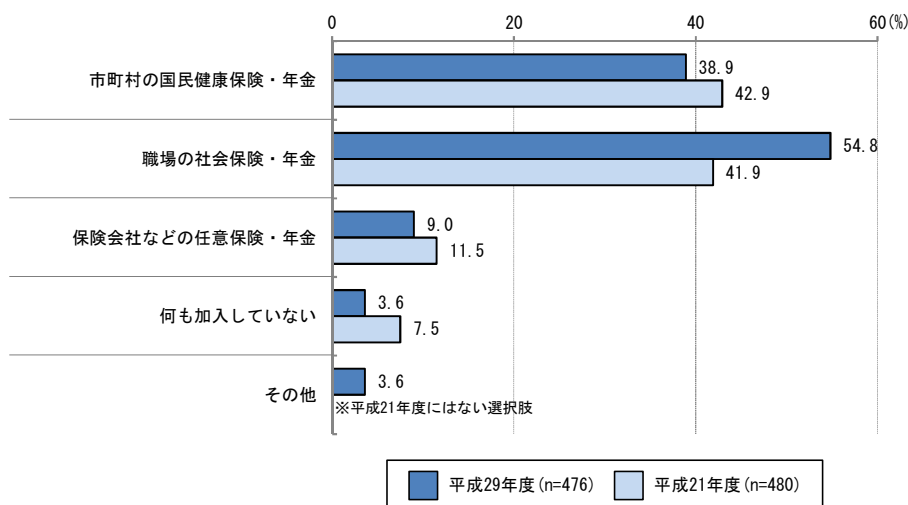
6 医療や保険について

6-1 あなたは、次のような保険や年金に加入していますか？（あてはまるもの全てに○）

保険や年金への加入状況では、「職場の社会保険・年金」（54.8%）の割合が最も高く、次いで「市町村の国民健康保険・年金」（38.9%）、「保険会社などの任意保険・年金」（9.0%）などの順となっている。約9割の人が何らかの保険や年金に加入しており、未加入者の割合は1割未満と低い。

経年比較すると、「職場の社会保険・年金」の割合は前回調査を12.9ポイント上回り、「正社員化」と「職場環境の改善」との関係が深いと思われる。

【6-1 保険や年金への加入状況】

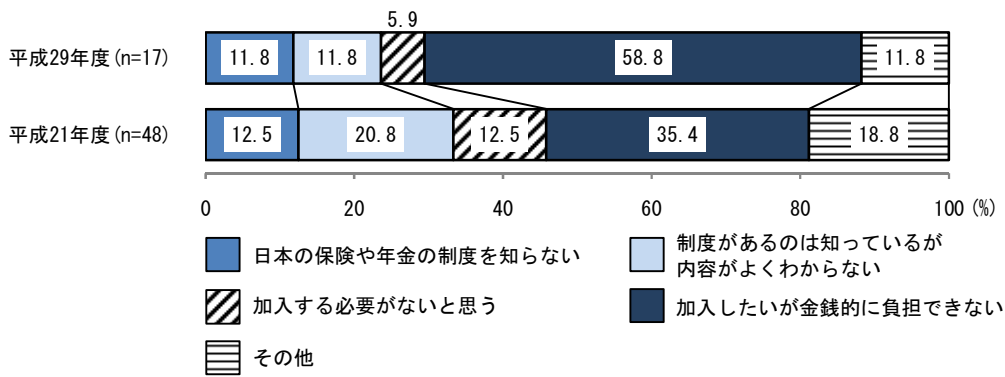


6-2 上の6-1の質問で4.を選んだ方におたずねします。加入していない理由は何ですか？

(1つに〇)

保険や年金への未加入者は少ないものの、未加入の理由では、「加入したいが金銭的に負担できない」との回答が58.8%と最も多い。

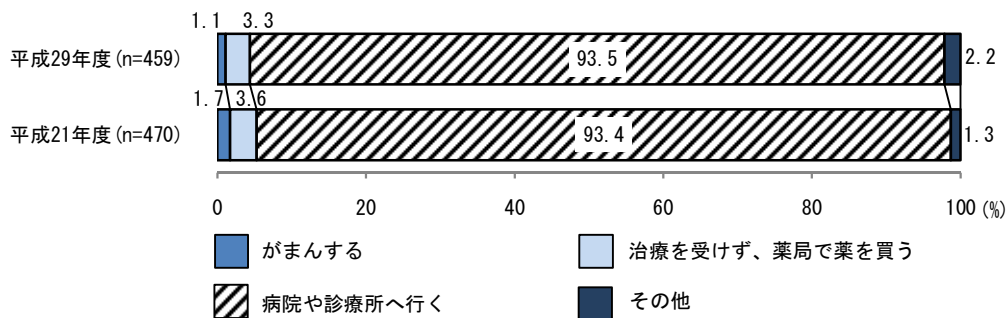
【6-2 保険や年金へ未加入の理由】



6-3 あなたや家族が、けがや病気のと き どう しますか？ (1つに〇)

けがや病気のと き の 対 応 で は、9割以上が「病院や診療所へ行く」としている。

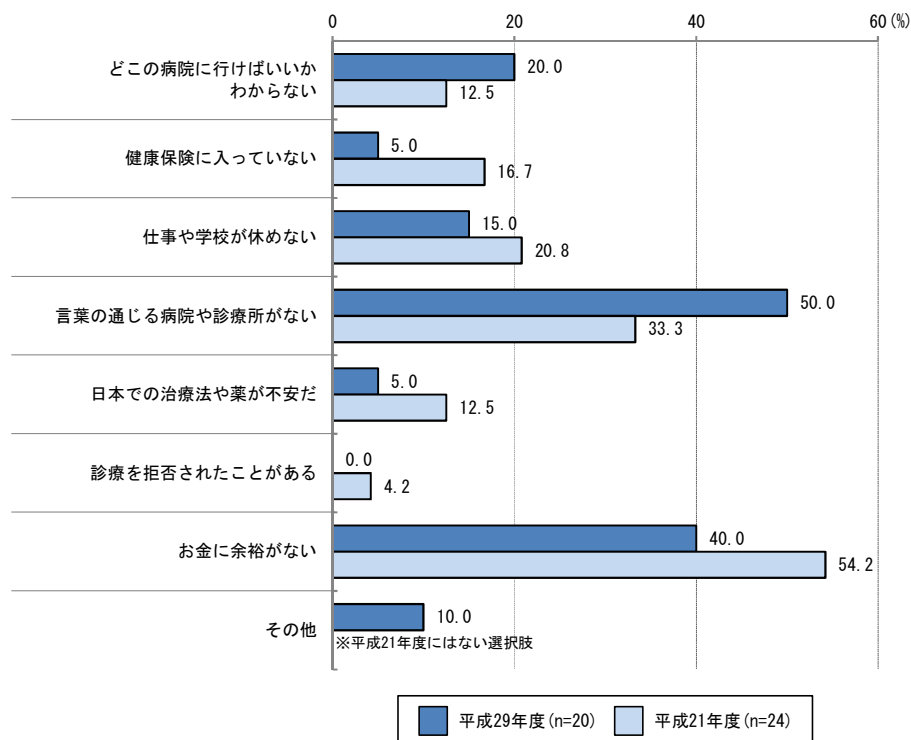
【6-3 けがや病気のと き の 対 応】



6-4 上の6-3の質問で1.または2.を選んだ方におたずねします。病院や診療所へ行かない理由は何ですか？（あてはまるもの3つまでに○）

病院や診療所へ行かないとの回答者数は少ないものの、行かない理由では、「言葉の通じる病院や診療所がない」（50.0%）との回答が最も多く、次いで「お金に余裕がない」（40.0%）などの順となっている。

【6-4 病院や診療所へ行かない理由】



7 防災について

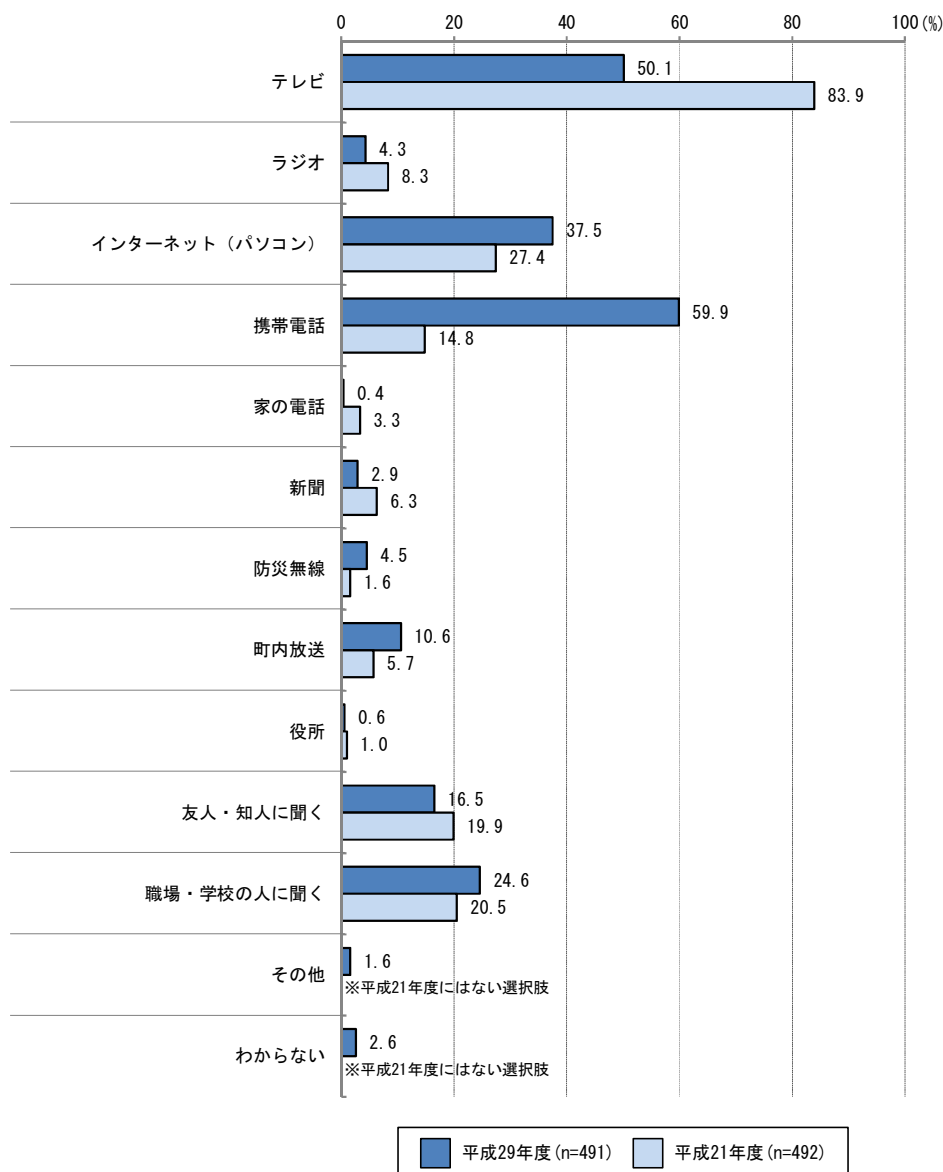
7-1 地震や台風などの災害が発生したとき、あなたはどこから情報を入手しますか？

(あてはまるもの3つまでに○)

災害時の情報の入手先では、「携帯電話」(59.9%)が最も多く、次いで「テレビ」(50.1%)、「インターネット(パソコン)」(37.5%)などの順となっている。

経年比較すると、「インターネット(パソコン)」は前回調査を10.1ポイント、「携帯電話」は前回調査を45.1ポイント上回っている。一方、「テレビ」は前回調査を33.8ポイント下回っている。

【7-1 災害時の情報の入手先】



災害時の情報の入手先を年代別で見ると、20代では「携帯電話」「インターネット（パソコン）」の割合が高く、「テレビ」は年齢が上がるにつれて多くなっている。

県民局別にみると、美作地域では「テレビ」が多い。

【7-1 災害時の情報の入手先（年代別・県民局別）】

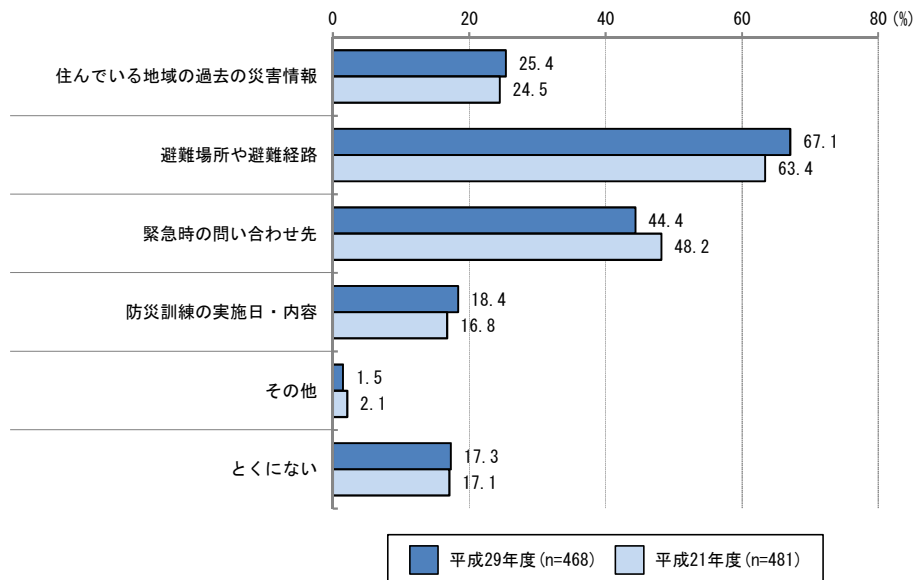
(%)

		テレビ	ラジオ	インターネット (パソコン)	携帯電話	家の電話	新聞	防災無線
全体 (n=491)		50.1	4.3	37.5	59.9	0.4	2.9	4.5
年代別	20代 (n=193)	29.0	2.1	45.1	57.0	1.0	1.6	3.6
	30代 (n=136)	52.9	4.4	36.8	65.4	0.0	2.9	2.9
	40代 (n=75)	68.0	4.0	28.0	61.3	0.0	5.3	5.3
	50代 (n=50)	76.0	10.0	30.0	64.0	0.0	2.0	8.0
	60代 (n=18)	88.9	5.6	38.9	44.4	0.0	5.6	16.7
70歳以上 (n=8)		100.0	25.0	0.0	37.5	0.0	12.5	0.0
県民局別	備前地域 (n=265)	48.7	4.5	37.4	64.2	0.8	4.2	2.3
	備中地域 (n=162)	46.9	3.1	39.5	54.3	0.0	0.6	4.9
	美作地域 (n=53)	66.0	3.8	32.1	54.7	0.0	3.8	15.1
		町内放送	役所	友人・知人に聞く	職場・学校の人間	その他	わからない	
全体 (n=491)		10.6	0.6	16.5	24.6	1.6	2.6	
年代別	20代 (n=193)	10.4	0.0	18.7	36.8	1.6	5.2	
	30代 (n=136)	9.6	0.7	13.2	21.3	3.7	0.7	
	40代 (n=75)	8.0	1.3	20.0	16.0	0.0	2.7	
	50代 (n=50)	14.0	2.0	12.0	12.0	0.0	0.0	
	60代 (n=18)	22.2	0.0	27.8	5.6	0.0	0.0	
70歳以上 (n=8)		25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	
県民局別	備前地域 (n=265)	9.8	0.4	17.7	18.1	1.9	3.0	
	備中地域 (n=162)	9.3	1.2	15.4	37.0	1.2	1.9	
	美作地域 (n=53)	18.9	0.0	15.1	18.9	1.9	3.8	

7-2 災害に関して知っておきたい情報は何ですか？（あてはまるもの全てに○）

知っておきたい災害情報では、「避難場所や避難経路」（67.1%）が最も多く、次いで「緊急時の問い合わせ先」（44.4%）などの順となっている。

【7-2 知っておきたい災害情報】



7-3 地震や台風などの災害に日頃からどんな準備をしていますか？

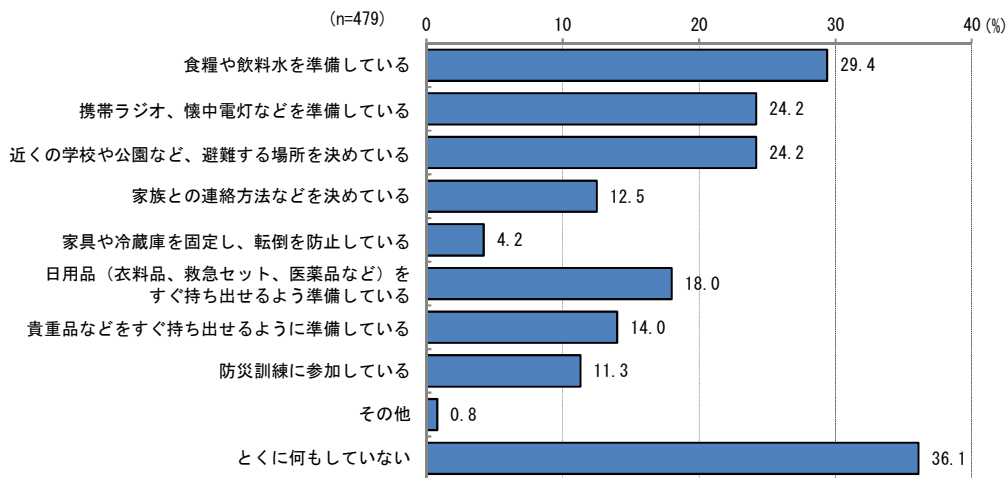
(あてはまるもの3つまでに○)

災害に対する日頃の備えでは、「とくに何もしていない」が36.1%と最も多い。

日頃の備えの内容では、「食糧や飲料水を準備している」(29.4%)との回答が最も多く、次いで「携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している」「近くの学校や公園など、避難する場所を決めている」(24.2%)などの順となっている。

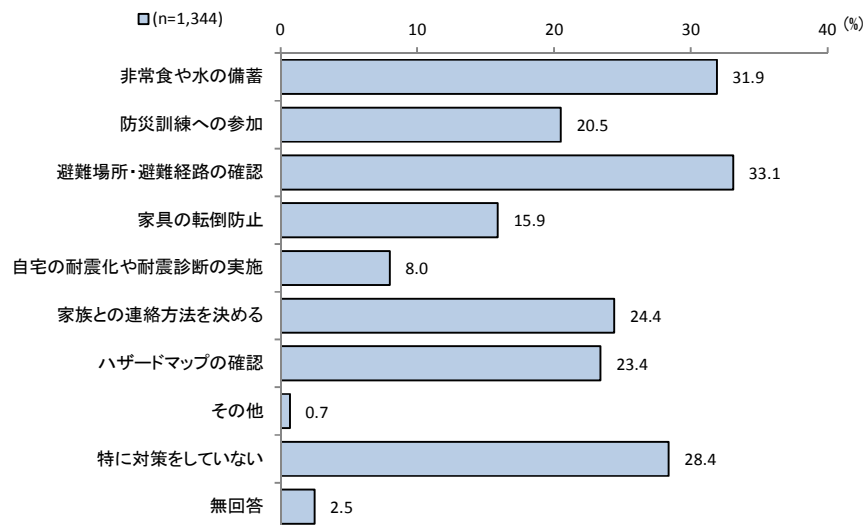
また、一般県民の災害に対する備えについてのアンケートと比較すると、「避難場所を決めている」「家具の転倒防止」「家族との連絡方法を決めている」などの割合が低い。

【7-3 災害に対する日頃の備え】



【参考】一般県民の災害に対する備え

(出典：平成29(2017)年度県民満足度調査(防災対策編))



災害に対する日頃の備えを年代別にみると、「とくに何もしていない」は20代が最も少なく、「食糧等を準備している」や「避難する場所を決めている」などの割合が高い。

国籍別にみると、「とくに何もしていない」はフィリピンが最も少なく、「食糧等を準備している」や「携帯ラジオ等を準備している」の割合が高い。

【7-3 災害に対する日頃の備え（年代別・国籍別）】

(%)

		食糧や飲料水を準備している	携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している	近くの学校や公園など、避難する場所を決めている	家族との連絡方法などを決めている	家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している	日用品（衣料品、救急セット、医薬品など）をすぐ持ち出せるように準備している	貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	防災訓練に参加している	その他	とくに何もしていない
全体 (n=479)		29.4	24.2	24.2	12.5	4.2	18.0	14.0	11.3	0.8	36.1
年代別	20代 (n=189)	31.2	17.5	28.6	14.8	3.2	21.7	14.8	15.3	0.0	31.7
	30代 (n=134)	33.6	23.1	19.4	9.7	4.5	18.7	11.2	11.2	1.5	39.6
	40代 (n=74)	24.3	32.4	23.0	10.8	2.7	14.9	13.5	9.5	1.4	36.5
	50代 (n=48)	20.8	33.3	22.9	14.6	8.3	10.4	16.7	4.2	2.1	43.8
	60代 (n=16)	31.3	37.5	25.0	12.5	12.5	6.3	25.0	0.0	0.0	37.5
	70歳以上 (n=7)	14.3	42.9	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1
	国籍別	中国 (n=187)	25.7	18.2	26.7	15.5	2.7	15.0	10.7	10.2	0.0
韓国・朝鮮 (n=27)		11.1	25.9	25.9	18.5	11.1	3.7	18.5	0.0	0.0	44.4
ブラジル (n=17)		23.5	17.6	29.4	5.9	0.0	23.5	11.8	0.0	11.8	52.9
フィリピン (n=60)		46.7	35.0	16.7	10.0	1.7	25.0	25.0	18.3	0.0	16.7
インドネシア (n=23)		8.7	17.4	8.7	4.3	0.0	17.4	17.4	13.0	0.0	47.8
ベトナム (n=82)		36.6	22.0	34.1	13.4	3.7	28.0	9.8	19.5	0.0	28.0
アメリカ (n=13)		46.2	30.8	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4	7.7	0.0	38.5
その他 (n=66)		28.8	34.8	19.7	10.6	10.6	10.6	15.2	3.0	3.0	34.8

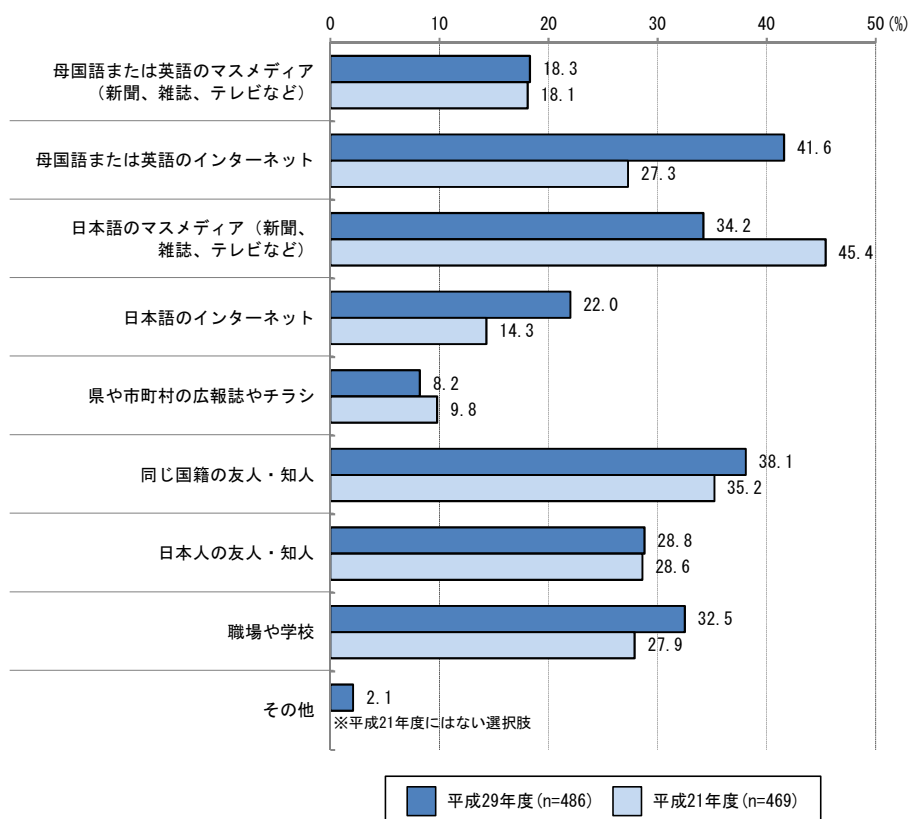
8 生活情報について

8-1 あなたは生活に必要な情報をどこで入手しますか？（あてはまるもの3つまでに○）

生活情報の入手先では、「母国語または英語のインターネット」（41.6%）が最も多く、次いで「同じ国籍の友人・知人」（38.1%）、「日本語のマスメディア（新聞、雑誌、テレビなど）」（34.2%）、「職場や学校」（32.5%）などの順となっている。

経年比較すると、「母国語または英語のインターネット」は前回調査を14.3ポイント、「日本語のインターネット」は前回調査を7.7ポイント上回っている。一方、「日本語のマスメディア（新聞、雑誌、テレビなど）」は前回調査を11.2ポイント下回っている。

【8-1 生活情報の入手先】



生活情報の入手先を国籍別で見ると、中国、韓国・朝鮮、ブラジルでは「日本語のマスメディア（新聞、雑誌、テレビなど）」の割合が高く、フィリピン、ベトナムでは「母国語または英語のインターネット」の割合が高い。

【8-1 生活情報の入手先（国籍別・県民局別）】

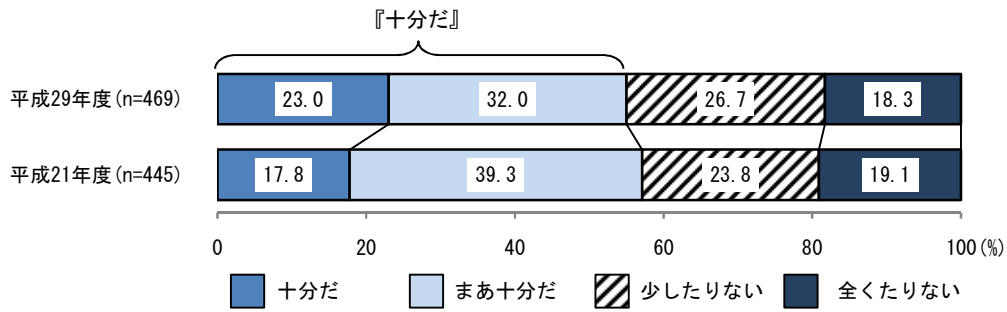
(%)

	母国語または英語のマスメディア（新聞、雑誌、テレビなど）	母国語または英語のインターネット	日本語のマスメディア（新聞、雑誌、テレビなど）	日本語のインターネット	県や市町村の広報誌やチラシ	同じ国籍の友人・知人	日本人の友人・知人	職場や学校	その他	
全体 (n=486)	18.3	41.6	34.2	22.0	8.2	38.1	28.8	32.5	2.1	
国籍別	中国 (n=188)	15.4	27.1	42.6	30.9	10.1	39.9	23.4	39.4	1.6
	韓国・朝鮮 (n=26)	15.4	23.1	61.5	34.6	23.1	11.5	57.7	15.4	0.0
	ブラジル (n=19)	36.8	26.3	52.6	15.8	26.3	31.6	26.3	10.5	5.3
	フィリピン (n=62)	16.1	46.8	32.3	6.5	3.2	25.8	35.5	30.6	1.6
	インドネシア (n=25)	20.0	40.0	28.0	20.0	0.0	40.0	28.0	36.0	0.0
	ベトナム (n=83)	14.5	63.9	13.3	8.4	4.8	59.0	24.1	39.8	0.0
	アメリカ (n=13)	46.2	76.9	46.2	46.2	7.7	15.4	30.8	15.4	7.7
	その他 (n=67)	22.4	55.2	22.4	19.4	4.5	32.8	34.3	20.9	6.0
県民局別	備前地域 (n=260)	16.9	41.5	36.9	22.7	7.7	38.8	26.9	30.0	1.5
	備中地域 (n=162)	21.6	45.7	29.0	18.5	8.0	41.4	29.6	40.7	1.9
	美作地域 (n=54)	16.7	31.5	35.2	22.2	11.1	27.8	31.5	22.2	5.6

8-2 県や市町村、支援団体（県や市町の国際交流協会、社会福祉協議会など）からの情報はあなたがわかる言葉で十分ありますか？（1つに○）

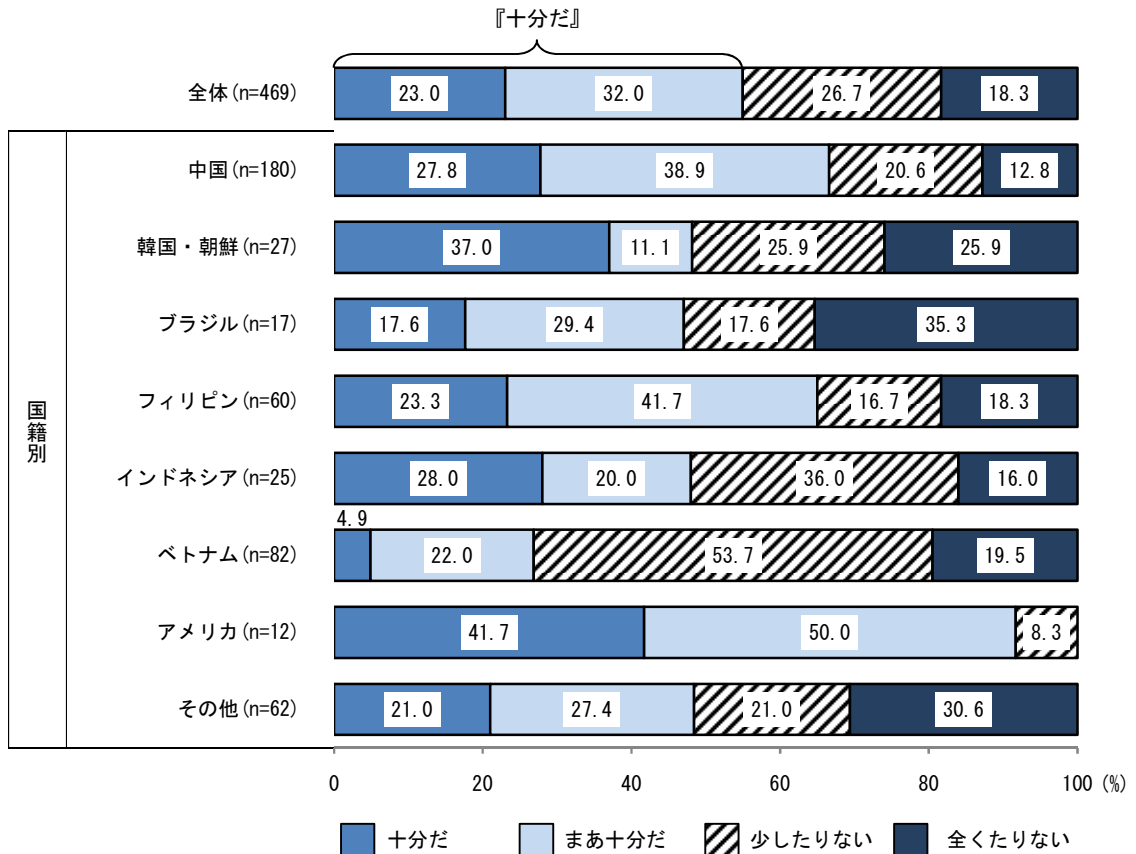
県や市町村、支援団体からの情報の充実度では、約半数が『十分だ』（「十分だ」と「まあ十分だ」を合わせた割合）としている。一方、約5人に1人は「全くたりない」としている。

【8-2 県や市町村、支援団体からの情報の充実度】



県や市町村、支援団体からの情報の充実度を国籍別にみると、ベトナムでは足りないとしている割合が高い。

【8-2 県や市町村、支援団体からの情報の充実度（国籍別）】



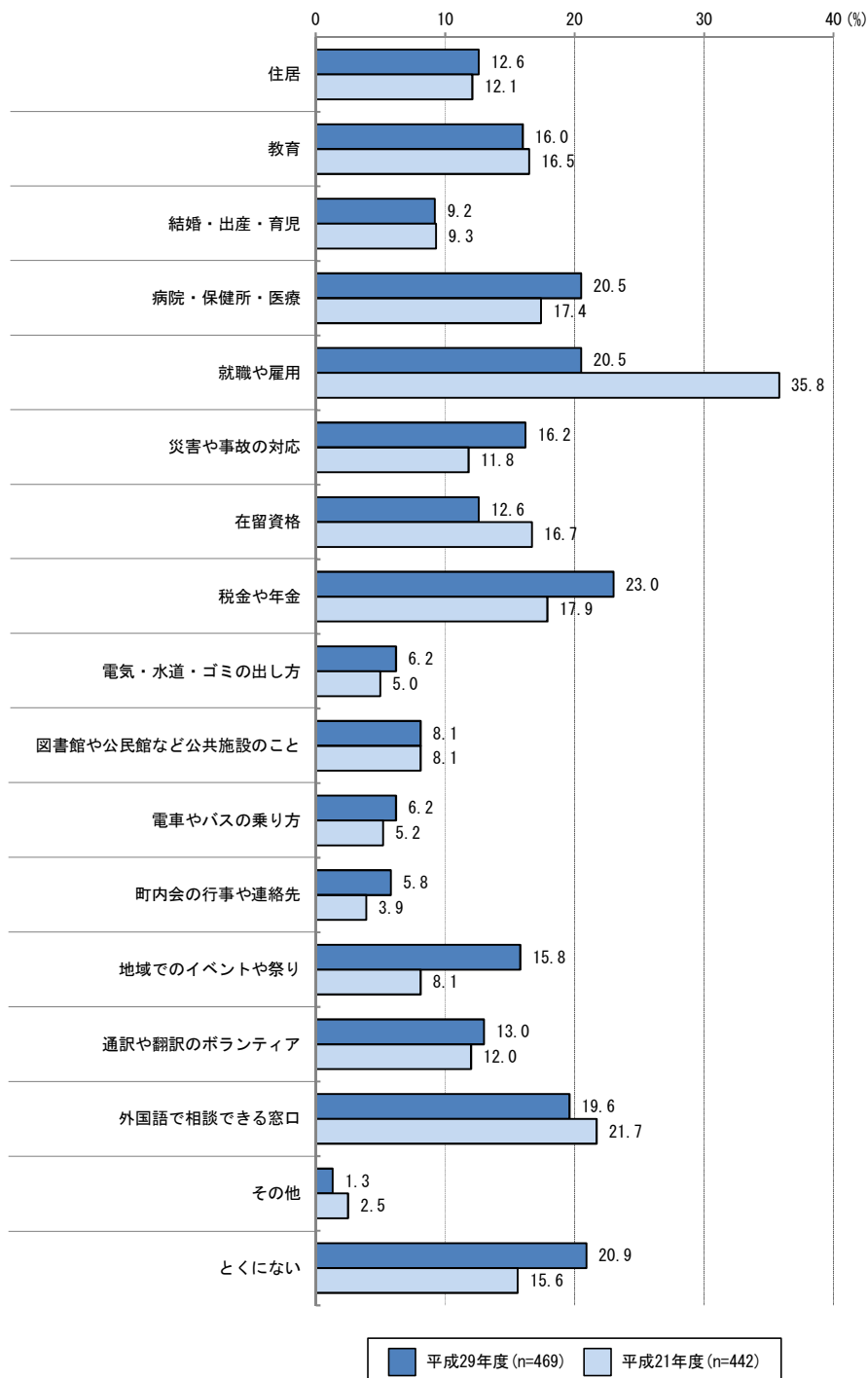
8-3 県や市町村、支援団体からどのような情報を提供してほしいですか？

(あてはまるもの3つまでに○)

県や市町村、支援団体から提供してほしい情報では、「税金や年金」(23.0%)が最も多く、次いで「病院・保健所・医療」「就職や雇用」(20.5%)、「外国語で相談できる窓口」(19.6%)などの順となっている。

経年比較すると、「税金や年金」は前回調査を5.1ポイント、「地域でのイベントや祭り」は前回調査を7.7ポイント上回っている。一方、「就職や雇用」は前回調査を15.3ポイント下回っていることから、平成21(2009)年と比較して外国人労働者の雇用条件が改善されたと思われる。

【8-3 県や市町村、支援団体から提供してほしい情報】



県や市町村、支援団体から提供してほしい情報を年代別にみると、20・30代で「とくにない」以外の数値が概ね高く、国籍別では、中国で「就職や雇用」、ベトナムで「災害や事故の対応」の割合が高い。

【8-3 県や市町村、支援団体から提供してほしい情報
(年代別・国籍別・日本での在住期間別・県民局別)】

		住居	教育	結婚・ 出産・ 育児	病院・ 保健所・ 医療	就職や 雇用	災害や 事故の 対応	在留 資格	税金や 年金	(%) 電気・ 水道・ ゴミの 出し方
全体 (n=469)		12.6	16.0	9.2	20.5	20.5	16.2	12.6	23.0	6.2
年代別	20代 (n=191)	14.1	14.1	12.6	22.5	17.8	17.8	14.7	20.9	6.8
	30代 (n=129)	13.2	24.0	14.7	18.6	25.6	17.8	17.1	26.4	8.5
	40代 (n=69)	8.7	18.8	0.0	24.6	26.1	13.0	5.8	21.7	2.9
	50代 (n=48)	14.6	8.3	0.0	14.6	18.8	12.5	10.4	29.2	2.1
	60代 (n=16)	0.0	0.0	0.0	18.8	6.3	6.3	0.0	12.5	12.5
	70歳以上 (n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
	国籍別	中国 (n=182)	13.7	22.0	12.1	19.8	22.5	15.4	14.8	20.9
韓国・朝鮮 (n=26)		15.4	15.4	15.4	7.7	26.9	11.5	0.0	19.2	3.8
ブラジル (n=18)		16.7	16.7	16.7	27.8	22.2	16.7	5.6	33.3	0.0
フィリピン (n=54)		11.1	11.1	1.9	22.2	20.4	5.6	16.7	33.3	3.7
インドネシア (n=24)		0.0	4.2	4.2	20.8	8.3	12.5	0.0	16.7	8.3
ベトナム (n=82)		11.0	12.2	9.8	20.7	12.2	30.5	15.9	22.0	6.1
アメリカ (n=13)		0.0	23.1	7.7	15.4	23.1	23.1	0.0	46.2	15.4
その他 (n=66)		13.6	12.1	4.5	24.2	25.8	10.6	13.6	19.7	12.1
在住期間別 日本での	3年未満 (n=210)	11.4	10.5	6.7	21.4	17.6	17.6	16.2	17.6	9.5
	3年～5年未満 (n=49)	20.4	18.4	20.4	24.5	18.4	12.2	18.4	20.4	6.1
	5年～10年未満 (n=52)	19.2	25.0	19.2	17.3	30.8	19.2	15.4	32.7	0.0
	10年～20年未満 (n=85)	9.4	28.2	5.9	21.2	25.9	16.5	7.1	25.9	2.4
	20年以上 (n=64)	6.3	9.4	4.7	15.6	17.2	10.9	3.1	31.3	6.3
県民局別	備前地域 (n=255)	14.1	16.1	11.4	19.2	21.6	14.9	12.9	24.7	6.3
	備中地域 (n=155)	10.3	16.1	7.7	23.2	20.6	20.0	14.2	19.4	4.5
	美作地域 (n=48)	4.2	14.6	4.2	16.7	14.6	10.4	8.3	25.0	10.4
		図書館や公民館など の施設	電車やバスの乗り方	先町内会の行事や連絡	祭地域でのイベントや	通訳や翻訳のポラン	窓外国語で相談できる	その他	とくにない	
全体 (n=469)		8.1	6.2	5.8	15.8	13.0	19.6	1.3	20.9	
年代別	20代 (n=191)	10.5	7.9	4.7	22.0	13.6	21.5	1.6	16.8	
	30代 (n=129)	5.4	7.0	4.7	14.7	14.0	20.2	1.6	13.2	
	40代 (n=69)	8.7	2.9	10.1	7.2	13.0	18.8	0.0	24.6	
	50代 (n=48)	8.3	6.3	6.3	12.5	12.5	20.8	0.0	33.3	
	60代 (n=16)	6.3	0.0	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	50.0	
	70歳以上 (n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	
	国籍別	中国 (n=182)	9.3	6.0	2.2	9.9	12.1	16.5	0.5	22.5
韓国・朝鮮 (n=26)		3.8	7.7	0.0	15.4	11.5	11.5	3.8	23.1	
ブラジル (n=18)		11.1	0.0	0.0	11.1	16.7	22.2	5.6	27.8	
フィリピン (n=54)		3.7	9.3	11.1	5.6	9.3	22.2	1.9	18.5	
インドネシア (n=24)		8.3	4.2	0.0	25.0	4.2	29.2	0.0	37.5	
ベトナム (n=82)		7.3	7.3	8.5	24.4	17.1	19.5	1.2	11.0	
アメリカ (n=13)		23.1	0.0	7.7	38.5	7.7	7.7	0.0	15.4	
その他 (n=66)		7.6	6.1	13.6	24.2	16.7	28.8	1.5	22.7	
在住期間別 日本での	3年未満 (n=210)	10.5	11.0	4.8	20.5	11.0	23.8	0.5	20.5	
	3年～5年未満 (n=49)	12.2	4.1	12.2	18.4	22.4	16.3	2.0	4.1	
	5年～10年未満 (n=52)	3.8	1.9	1.9	1.9	17.3	13.5	1.9	15.4	
	10年～20年未満 (n=85)	4.7	3.5	8.2	11.8	12.9	16.5	2.4	21.2	
	20年以上 (n=64)	6.3	0.0	4.7	14.1	9.4	18.8	1.6	40.6	
県民局別	備前地域 (n=255)	9.4	2.7	7.1	14.9	11.0	19.2	1.6	18.4	
	備中地域 (n=155)	6.5	11.0	1.9	17.4	14.8	21.3	0.6	23.2	
	美作地域 (n=48)	6.3	10.4	12.5	18.8	18.8	18.8	2.1	27.1	

9 困りごとや相談について

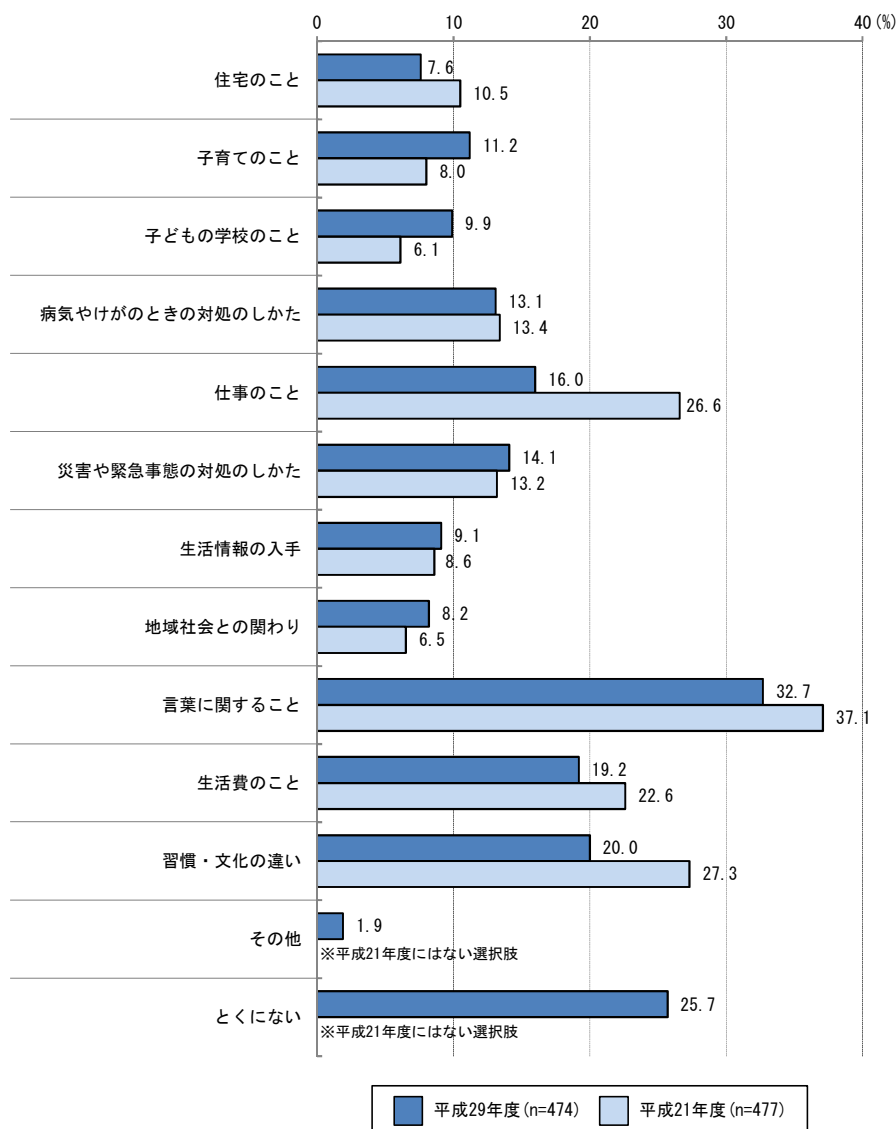
9-1 あなたが普段の生活で困っていることや不安に思っていることは何ですか？

(あてはまるもの3つまでに○)

普段の生活での困りごとや不安なことでは、「言葉に関すること」(32.7%)が最も多く、次いで「習慣・文化の違い」(20.0%)、「生活費のこと」(19.2%)などの順となっている。また、約4人に1人は「とくにない」としている。

経年比較すると、「仕事のこと」は前回調査を10.6ポイント、「習慣・文化の違い」は前回調査を7.3ポイント下回っている。

【9-1 普段の生活での困りごとや不安なこと】



普段の生活での困りごとや不安なことの年代別では、20代で「言葉に関すること」が多く、国籍別では、ベトナムで「言葉に関すること」が多い。日本での在住期間別では、3年未満で「言葉に関すること」が多く、県民局別では、美作地域で「とくにない」が多い。

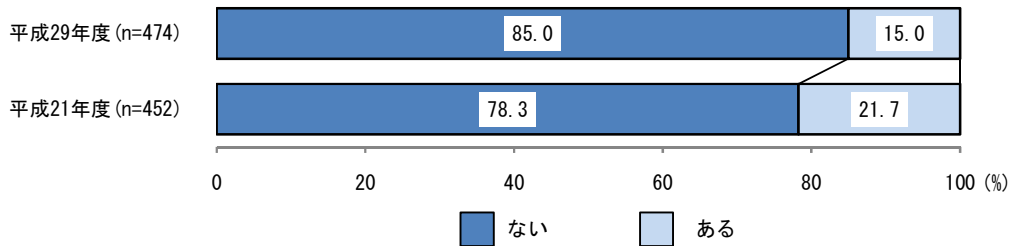
【9-1 普段の生活での困りごとや不安なこと
(年代別・国籍別・日本での在住期間別・県民局別)】

		住宅のこと	子育てのこと	子どもの学校のこと	病気のしけがのときの対処のこと	仕事のこと	災害や緊急事態の対処のしけがた	生活情報の入手
		(%)						
全体 (n=474)		7.6	11.2	9.9	13.1	16.0	14.1	9.1
年代別	20代 (n=192)	4.2	4.2	3.1	14.6	12.0	16.1	12.0
	30代 (n=133)	14.3	21.1	18.8	12.8	21.1	14.3	9.0
	40代 (n=69)	2.9	18.8	13.0	8.7	18.8	11.6	7.2
	50代 (n=48)	6.3	6.3	14.6	18.8	20.8	14.6	6.3
	60代 (n=16)	12.5	0.0	0.0	6.3	12.5	6.3	0.0
	70歳以上 (n=7)	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
国籍別	中国 (n=181)	9.9	14.9	12.7	11.6	19.3	12.7	7.7
	韓国・朝鮮 (n=27)	18.5	14.8	14.8	14.8	22.2	7.4	18.5
	ブラジル (n=19)	10.5	10.5	10.5	5.3	26.3	21.1	10.5
	フィリピン (n=56)	7.1	3.6	10.7	8.9	16.1	5.4	7.1
	インドネシア (n=25)	8.0	8.0	12.0	24.0	12.0	8.0	0.0
	ベトナム (n=84)	0.0	4.8	2.4	16.7	11.9	27.4	13.1
	アメリカ (n=13)	0.0	23.1	7.7	15.4	7.7	23.1	7.7
	その他 (n=66)	6.1	12.1	9.1	13.6	10.6	10.6	9.1
在住期間別 日本での	3年未満 (n=213)	1.9	0.5	0.5	14.6	11.3	14.6	10.3
	3年～5年未満 (n=50)	12.0	8.0	12.0	10.0	20.0	14.0	16.0
	5年～10年未満 (n=53)	22.6	30.2	22.6	13.2	18.9	22.6	9.4
	10年～20年未満 (n=83)	9.6	32.5	18.1	14.5	21.7	9.6	7.2
	20年以上 (n=67)	7.5	6.0	17.9	10.4	16.4	13.4	3.0
県民局別	備前地域 (n=256)	9.0	12.1	7.8	14.5	16.0	16.4	9.8
	備中地域 (n=158)	5.1	10.1	12.7	9.5	14.6	12.7	10.8
	美作地域 (n=51)	3.9	7.8	7.8	17.6	15.7	9.8	2.0
		地域社会との関わり	言葉に関すること	生活費のこと	習慣・文化の違い	その他	とくにない	
全体 (n=474)		8.2	32.7	19.2	20.0	1.9	25.7	
年代別	20代 (n=192)	7.3	43.2	21.4	24.5	2.1	22.9	
	30代 (n=133)	7.5	30.1	18.8	21.1	1.5	20.3	
	40代 (n=69)	14.5	24.6	14.5	14.5	1.4	27.5	
	50代 (n=48)	8.3	22.9	18.8	14.6	4.2	27.1	
	60代 (n=16)	6.3	12.5	25.0	6.3	0.0	62.5	
	70歳以上 (n=7)	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	71.4	
国籍別	中国 (n=181)	7.2	31.5	14.9	25.4	1.1	23.8	
	韓国・朝鮮 (n=27)	7.4	14.8	14.8	18.5	3.7	33.3	
	ブラジル (n=19)	5.3	26.3	21.1	10.5	5.3	31.6	
	フィリピン (n=56)	7.1	30.4	21.4	16.1	1.8	28.6	
	インドネシア (n=25)	4.0	24.0	20.0	16.0	8.0	32.0	
	ベトナム (n=84)	9.5	54.8	20.2	22.6	0.0	14.3	
	アメリカ (n=13)	15.4	30.8	0.0	0.0	7.7	30.8	
	その他 (n=66)	12.1	22.7	31.8	15.2	1.5	34.8	
在住期間別 日本での	3年未満 (n=213)	5.2	50.7	18.8	24.4	2.3	27.2	
	3年～5年未満 (n=50)	14.0	30.0	18.0	32.0	0.0	18.0	
	5年～10年未満 (n=53)	5.7	18.9	32.1	15.1	1.9	9.4	
	10年～20年未満 (n=83)	16.9	20.5	14.5	18.1	1.2	20.5	
	20年以上 (n=67)	4.5	7.5	17.9	6.0	3.0	44.8	
県民局別	備前地域 (n=256)	8.6	32.0	16.4	24.6	0.8	21.9	
	備中地域 (n=158)	7.0	34.2	22.2	14.6	1.3	29.1	
	美作地域 (n=51)	9.8	35.3	21.6	17.6	9.8	35.3	

9-2 あなたやあなたの家族や友人が地域との間でトラブルを経験したことがありますか？
(1つに○)

地域間トラブルの経験では、「ない」が85.0%、「ある」が15.0%となっている。
経年比較すると、「ある」は前回調査を6.7ポイント下回っている。

【9-2 地域間トラブルの経験】

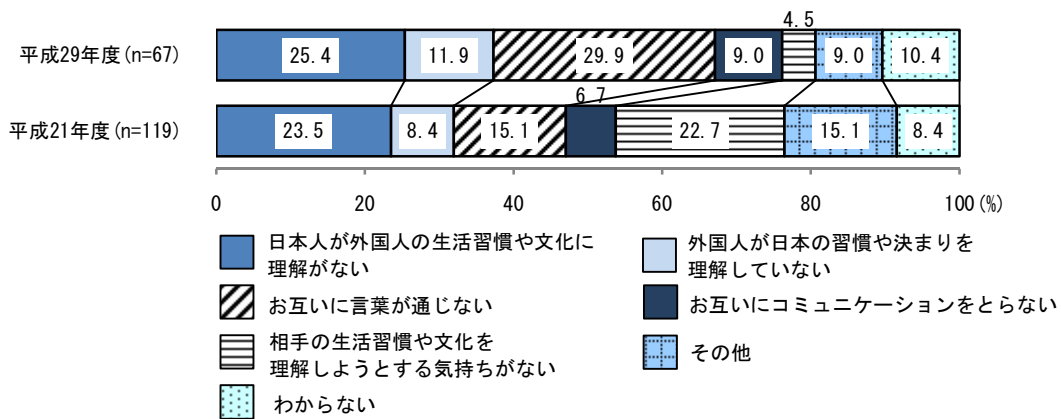


9-3 上の9-2の質問で2.を選んだ方におたずねします。トラブルの一番の原因は何だと思いますか？ (1つに○)

トラブルの原因では、「お互いに言葉が通じない」(29.9%)との回答が最も多く、次いで「日本人が外国人の生活習慣や文化に理解がない」(25.4%)、「外国人が日本の習慣や決まりを理解していない」(11.9%)などの順となっている。

経年比較すると、「お互いに言葉が通じない」との回答は前回調査を14.8ポイント上回っている。一方、「相手の生活習慣や文化を理解しようとする気持ちがない」との回答は前回調査を18.2ポイント下回っている。

【9-3 トラブルの原因】

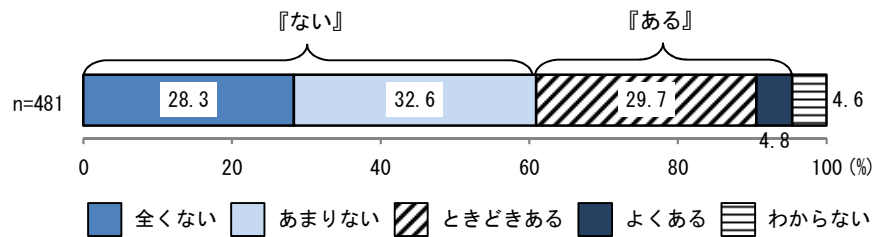


9-4 あなたは、普段の生活の中で、日本人から外国人に対する偏見や差別を感じたことがありますか？（1つに○）

偏見や差別を感じた経験では、『ない』（「全くない」と「あまりない」を合わせた割合）が60.9%、『ある』（「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合）が34.5%となっている。

本県での在留期間とのクロス表を対応分析にかけた結果では、留学生や研修生・技能実習生が該当する「3年未満」の短期在留者に「全くない」が多くなっていることから、在留期間が長くなることでそういった場面に遭遇する機会が増えるのではないかと推測される。

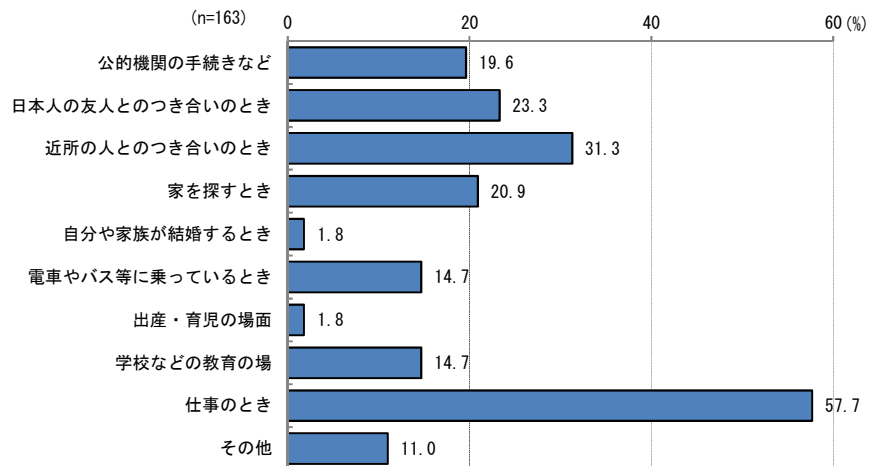
【9-4 偏見や差別を感じた経験】



9-5 上の9-4の質問で3. 4. を選んだ方におたずねします。偏見や差別をどのような場合に感じましたか？（あてはまるもの全てに○）

偏見や差別を感じた場面では、「仕事するとき」（57.7%）が最も多く、次いで「近所の人とのつき合いのとき」（31.3%）、「日本人の友人とのつき合いのとき」（23.3%）などの順となっている。

【9-5 偏見や差別を感じた場面】



偏見や差別を感じた場面の年代別では、40代・50代で「近所の人とのつき合いのとき」が多く、国籍別では、中国で「近所の人とのつき合いのとき」が多い。

【9-5 偏見や差別を感じた場面（性別・年代別・国籍別）】

		公的機関の手続きなど	日本人の友人とのつき合いのとき	近所の人とのつき合いのとき	家を探すとき	自分や家族が結婚するとき	電車やバス等に乗っているとき	出産・育児の場面	学校などの教育の場	仕事するとき	その他
全体 (n=163)		19.6	23.3	31.3	20.9	1.8	14.7	1.8	14.7	57.7	11.0
性別	男性 (n=64)	20.3	20.3	26.6	28.1	3.1	26.6	3.1	12.5	53.1	17.2
	女性 (n=97)	18.6	24.7	34.0	15.5	1.0	7.2	1.0	16.5	61.9	7.2
年代別	20代 (n=51)	17.6	27.5	21.6	13.7	0.0	17.6	0.0	21.6	56.9	15.7
	30代 (n=54)	24.1	27.8	33.3	29.6	3.7	14.8	3.7	13.0	57.4	7.4
	40代 (n=28)	17.9	14.3	39.3	17.9	0.0	14.3	3.6	7.1	67.9	7.1
	50代 (n=22)	18.2	22.7	40.9	9.1	4.5	13.6	0.0	13.6	59.1	18.2
	60代 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳以上 (n=3)	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	国籍別	中国 (n=68)	17.6	22.1	39.7	26.5	0.0	13.2	1.5	16.2	63.2
	韓国・朝鮮 (n=12)	25.0	33.3	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7
	ブラジル (n=9)	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	77.8	11.1
	フィリピン (n=22)	18.2	18.2	31.8	9.1	4.5	9.1	0.0	18.2	68.2	4.5
	インドネシア (n=5)	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0
	ベトナム (n=17)	5.9	23.5	5.9	23.5	0.0	23.5	0.0	5.9	47.1	11.8
	アメリカ (n=4)	25.0	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	75.0	25.0
	その他 (n=24)	33.3	20.8	29.2	25.0	8.3	29.2	8.3	12.5	41.7	16.7

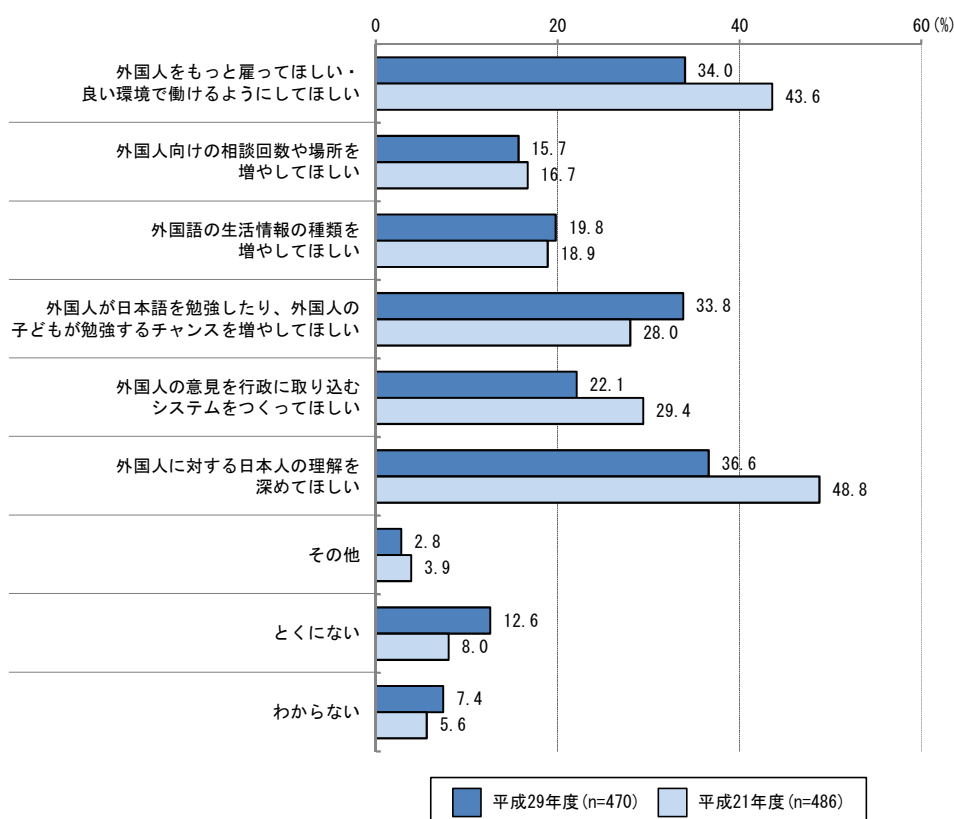
9-6 外国人と日本人が地域の中でいっしょに生きていくためには、何が重要だと思いますか？

(あてはまるもの3つまでに○)

外国人と日本人が共生するために必要なことでは、「外国人に対する日本人の理解を深めてほしい」(36.6%)との回答が最も多く、次いで「外国人をもっと雇ってほしい・良い環境で働けるようにしてほしい」(34.0%)、「外国人が日本語を勉強したり、外国人の子どもが勉強するチャンスを増やしてほしい」(33.8%)などの順となっている。

経年比較すると、「外国人が日本語を勉強したり、外国人の子どもが勉強するチャンスを増やしてほしい」との回答は前回調査を5.8ポイント上回っている。一方、「外国人をもっと雇ってほしい・良い環境で働けるようにしてほしい」との回答は前回調査を9.6ポイント、「外国人の意見を行政に取り込むシステムをつくってほしい」との回答は前回調査を7.3ポイント、「外国人に対する日本人の理解を深めてほしい」との回答は前回調査を12.2ポイント下回っている。

【9-6 外国人と日本人が共生するために必要なこと】



外国人と日本人が共生するために必要なことを性別にみると、男性で「外国人をもっと雇ってほしい・良い環境で働けるようにしてほしい」との回答は約4割、「外国人向けの相談回数や場所を増やしてほしい」との回答が2割超と、女性よりも高い。

国籍別にみると、フィリピンで「外国人をもっと雇ってほしい・良い環境で働けるようにしてほしい」との回答が5割超、ベトナムで「外国人が日本語を勉強したり、外国人の子どもが勉強するチャンスを増やしてほしい」との回答が5割台半ばと高い。

【9-6 外国人と日本人が共生するために必要なこと（性別・国籍別・県民局別）】

(%)

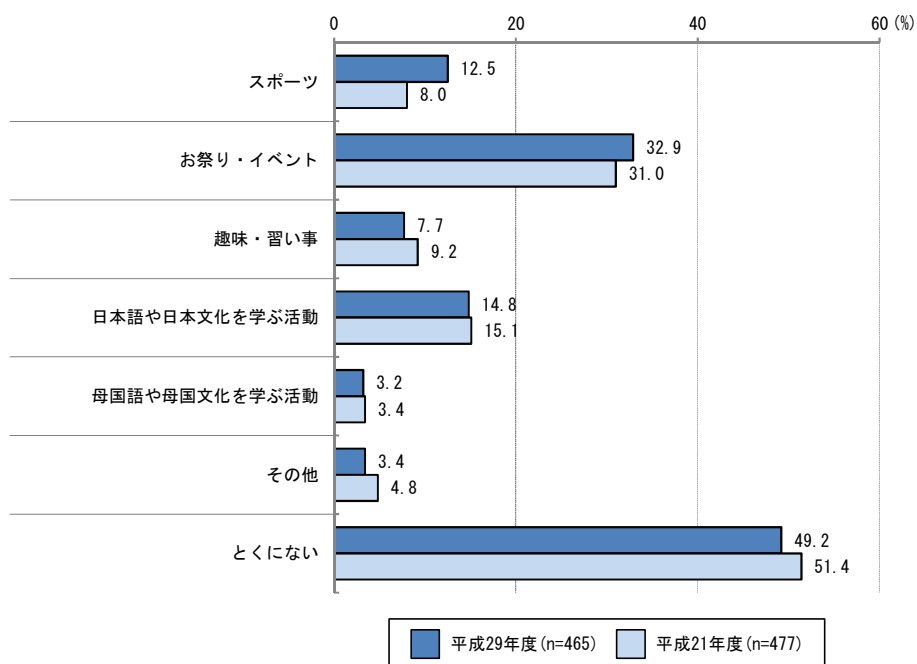
	外国人をもっと雇ってほしい・良い環境で働ける	外国人向けの相談回数や場所を増やしてほしい	外国語の生活情報の種類を増やしてほしい	外国人が日本語を勉強したり、外国人の子どもが勉強するチャンスを増やしてほしい	外国人の意見を行政につけたい	外国人に對する日本人の理解を深めたい	その他	とくにない	わからない	
全体 (n=470)	34.0	15.7	19.8	33.8	22.1	36.6	2.8	12.6	7.4	
性別	男性 (n=181)	37.6	22.7	19.9	34.8	26.5	35.4	4.4	11.0	5.0
	女性 (n=284)	32.0	11.6	19.7	33.5	19.4	37.7	1.8	13.7	8.5
国籍別	中国 (n=182)	40.7	8.8	12.6	26.4	24.7	46.2	2.7	11.5	7.1
	韓国・朝鮮 (n=27)	25.9	18.5	22.2	25.9	22.2	25.9	7.4	14.8	3.7
	ブラジル (n=18)	22.2	22.2	33.3	22.2	16.7	38.9	5.6	22.2	11.1
	フィリピン (n=56)	51.8	8.9	28.6	28.6	19.6	17.9	1.8	8.9	10.7
	インドネシア (n=25)	32.0	20.0	12.0	24.0	8.0	32.0	0.0	16.0	20.0
	ベトナム (n=80)	22.5	20.0	23.8	56.3	25.0	33.8	0.0	10.0	3.8
	アメリカ (n=12)	16.7	33.3	16.7	50.0	8.3	41.7	16.7	8.3	8.3
	その他 (n=67)	25.4	28.4	26.9	37.3	23.9	35.8	3.0	17.9	4.5
県民局別	備前地域 (n=252)	35.3	15.1	20.2	32.5	23.4	40.5	1.6	10.7	5.6
	備中地域 (n=157)	34.4	17.2	19.7	38.9	22.9	33.8	3.8	12.7	8.3
	美作地域 (n=51)	23.5	17.6	21.6	25.5	9.8	25.5	5.9	21.6	11.8

10 地域社会との関わりについて

10-1 あなたが地域で参加している活動がありますか？（あてはまるもの全てに○）

参加している地域活動では、約半数が「とくにない」としている。また、参加している人では「お祭り・イベント」(32.9%)が最も多く、次いで「日本語や日本文化を学ぶ活動」(14.8%)、「スポーツ」(12.5%)などの順となっている。

【10-1 参加している地域活動】



参加している地域活動を性別にみると、男性で「スポーツ」が多く、女性で「とくにない」が多い。

国籍別にみると、ベトナムで「日本語や日本文化を学ぶ活動」が多い。

【10-1 参加している地域活動（性別・国籍別・県民局別）】

(%)

		スポーツ	お祭り・イベント	趣味・習い事	学日本語や日本文化を学ぶ活動	学母国語や母国文化を学ぶ活動	その他	とくにない
全体 (n=465)		12.5	32.9	7.7	14.8	3.2	3.4	49.2
性別	男性 (n=180)	20.6	36.1	10.0	17.8	6.7	3.9	42.8
	女性 (n=280)	7.1	31.1	5.7	13.2	1.1	3.2	53.2
国籍別	中国 (n=179)	9.5	34.1	9.5	16.8	5.0	2.2	49.7
	韓国・朝鮮 (n=27)	3.7	29.6	11.1	7.4	3.7	0.0	51.9
	ブラジル (n=18)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	11.1	72.2
	フィリピン (n=56)	12.5	14.3	3.6	3.6	0.0	3.6	66.1
	インドネシア (n=25)	24.0	44.0	0.0	12.0	0.0	0.0	36.0
	ベトナム (n=80)	13.8	32.5	7.5	27.5	2.5	1.3	47.5
	アメリカ (n=13)	7.7	38.5	0.0	7.7	7.7	15.4	46.2
	その他 (n=65)	21.5	46.2	10.8	13.8	3.1	7.7	33.8
県民局別	備前地域 (n=247)	14.6	30.0	8.9	15.8	4.0	3.6	50.6
	備中地域 (n=161)	6.2	35.4	5.0	12.4	1.9	2.5	49.7
	美作地域 (n=49)	16.3	36.7	4.1	14.3	0.0	6.1	44.9

また、様々な地域活動の中で在留外国人が比較的多く参加しているのは、「お祭り・イベント」であるが、永住者の参加がみられる他は、それ以外のカテゴリの在留資格の参加は低調である。在留期間での参加の違いはあまりみられないので、単に在留期間が長ければ参加するようになるということではなく、地域の中で生きていくというコミットメントの違いによるものかもしれない。

【10-1 参加している地域活動（在留資格別・日本での在住期間別）】

(%)

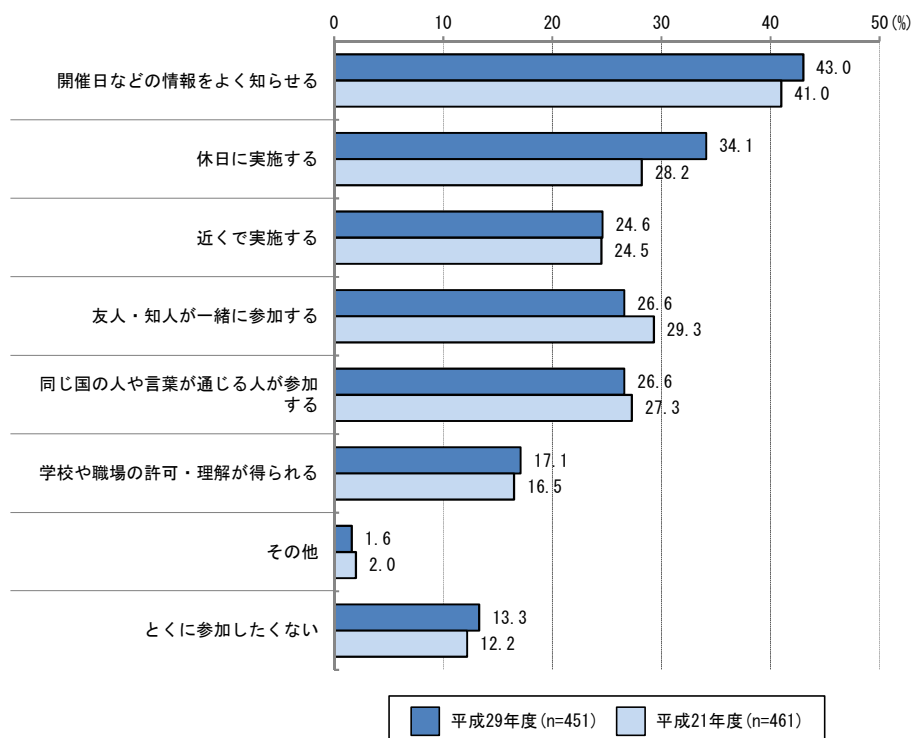
		スポーツ	お祭り・イベント	趣味・習い事	学日本語や日本文化を学ぶ活動	学母国語や母国文化を学ぶ活動	その他	とくにない
全体 (n=465)		12.5	32.9	7.7	14.8	3.2	3.4	49.2
在留資格別	永住者 (n=125)	12.8	40.0	7.2	9.6	3.2	4.0	47.2
	日本人または永住者の配偶者など (n=57)	1.8	19.3	3.5	7.0	0.0	8.8	63.2
	定住者 (n=20)	10.0	20.0	15.0	0.0	0.0	5.0	60.0
	家族滞在 (n=14)	0.0	21.4	0.0	28.6	0.0	7.1	57.1
	研修 (n=55)	10.9	34.5	5.5	14.5	0.0	1.8	52.7
	特定活動 (n=15)	26.7	46.7	20.0	26.7	6.7	0.0	40.0
	留学 (n=54)	16.7	31.5	16.7	33.3	7.4	0.0	40.7
	技能実習 (n=88)	15.9	31.8	1.1	9.1	3.4	0.0	47.7
その他 (n=31)	16.1	35.5	16.1	35.5	9.7	9.7	38.7	
在住期間別 日本での	3年未満 (n=208)	12.5	29.3	6.3	19.7	2.4	1.9	47.6
	3年～5年未満 (n=51)	17.6	39.2	9.8	29.4	7.8	3.9	41.2
	5年～10年未満 (n=53)	5.7	37.7	9.4	1.9	0.0	3.8	52.8
	10年～20年未満 (n=82)	15.9	36.6	7.3	13.4	6.1	4.9	52.4
	20年以上 (n=64)	6.3	29.7	7.8	0.0	0.0	4.7	56.3

10-2 外国人が地域での活動に参加しやすくなるためには、どうすればいいと思いますか？

(あてはまるもの3つまでに○)

地域活動に参加しやすくなるために必要なことでは、「開催日などの情報をよく知らせる」(43.0%)との回答が最も多く、次いで「休日に実施する」(34.1%)などの順となっている。経年比較すると、「休日に実施する」との回答は前回調査を5.9ポイント上回っている。

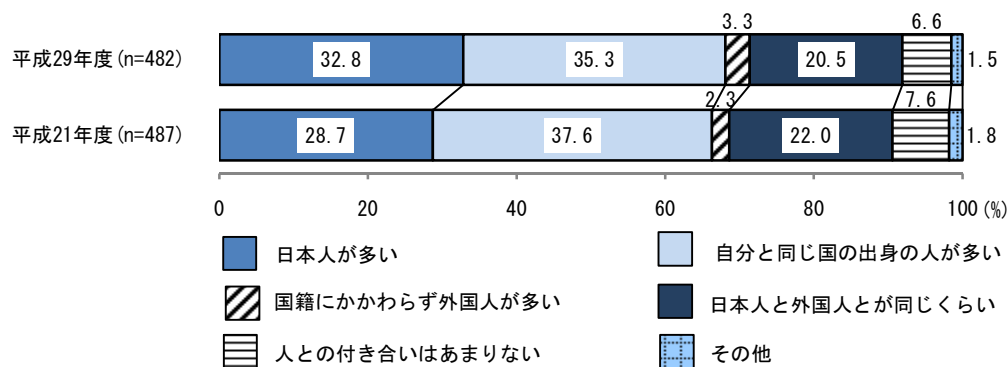
【10-2 地域活動に参加しやすくなるために必要なこと】



10-3 あなたが普段お付き合いしているのは主にどのような人ですか？ (1つに○)

普段付き合っている人では、「自分と同じ国の出身の人が多い」(35.3%)との回答が最も多く、次いで「日本人が多い」(32.8%)、「日本人と外国人が同じくらい」(20.5%)などの順となっている。

【10-3 普段付き合っている人】



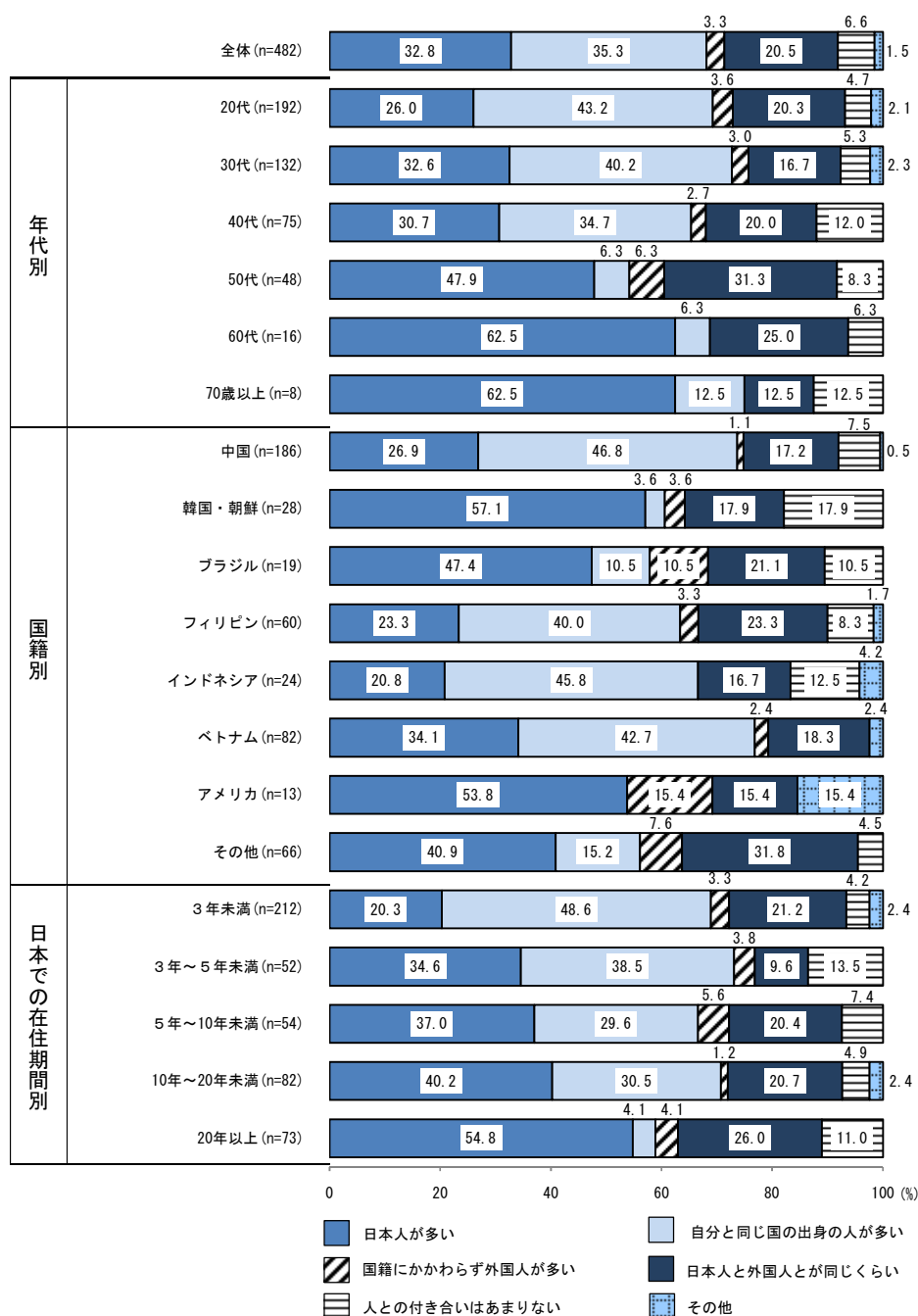
普段付き合っている人を年代別にみると、「日本人が多い」との回答は60代以上で6割超と高く、年齢が上がるにつれて多くなっている。

国籍別にみると、韓国・朝鮮で「日本人が多い」との回答が多い。

日本での在住期間でみると、10年を超えると日本社会に定着して、日本人との付き合いが多くなっている。3年未満だと日本人との付き合いがなく、同国人との付き合いばかりとなる傾向がみられる。

在留資格とのクロス表を対応分析にかけた結果では、永住者は日本人との付き合いが多く、同国人とばかり付き合っているわけではない。日本人・外国人の配偶者も然りである。他方、研修生・技能実習生は、日本人との付き合いがなく、同国人とばかり接する傾向が強い。留学生は唯一「国籍にかかわらず外国人が多い」「日本人と同国人が同じ程度」が多いカテゴリであり、大学などで置かれた状況によると思われる。

【10-3 普段付き合っている人（年代別・国籍別・日本での在住期間別）】



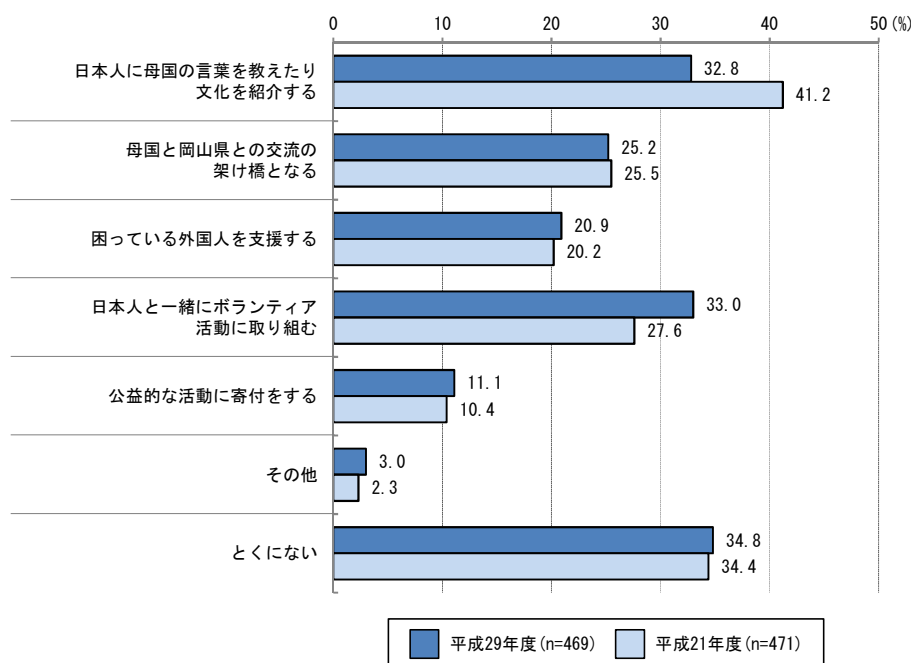
10-4 あなたが地域（岡山県）の国際化を進めるためにできる活動がありますか？

（あてはまるもの3つまでに○）

地域（岡山県）の国際化のためにできる活動では、「日本人と一緒にボランティア活動に取り組む」（33.0%）との回答が最も多く、次いで「日本人に母国の言葉を教えたり文化を紹介する」（32.8%）などの順となっている。また、「とくにない」も34.8%と多い。

経年比較すると、「日本人と一緒にボランティア活動に取り組む」との回答は前回調査を5.4ポイント上回っている。一方、「日本人に母国の言葉を教えたり文化を紹介する」との回答は前回調査を8.4ポイント下回っている。

【10-4 地域（岡山県）の国際化のためにできる活動】



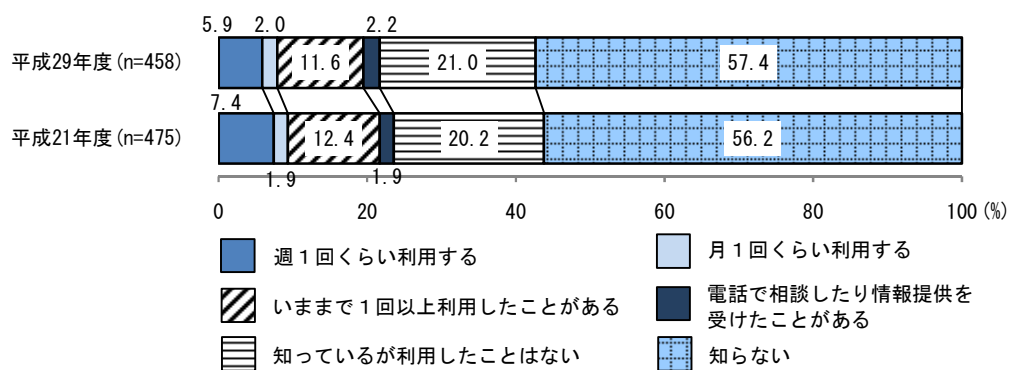
1.1 行政・支援団体のサービスについて

1.1-1 行政・支援団体が実施している日本語教室や各種相談業務等のサービスを利用されたことがありますか？（1つに○）

日本語教室や各種相談業務等のサービスの利用状況では、「知らない」（57.4%）が最も多く、「知っているが利用したことはない」との回答と合わせると約8割となり、利用頻度は高くない。

「知らない」が前回に引き続き今回の調査でも高い数値を示していることについて、その主因が「周知方法が適切かどうか」なのか、誰もが利用しやすい環境でないため波及効果が薄いといった「サービスの内容や質」の問題なのかを見極めていくことが今後の重要課題の一つであると考えられる。

【1.1-1 日本語教室や各種相談業務等のサービスの利用状況】

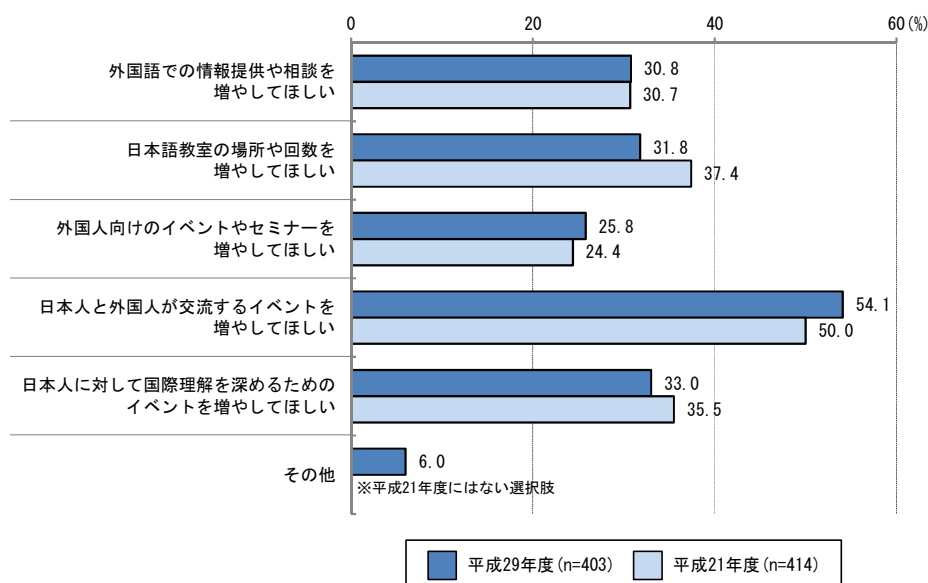


11-2 行政・支援団体にどのようなことを望みますか？（あてはまるもの3つまでに○）

行政・支援団体への要望では、「日本人と外国人が交流するイベントを増やしてほしい」（54.1%）との回答が最も多く、次いで「日本人に対して国際理解を深めるためのイベントを増やしてほしい」（33.0%）、「日本語教室の場所や回数を増やしてほしい」（31.8%）、「外国語での情報提供や相談を増やしてほしい」（30.8%）などの順となっている。

経年比較すると、「日本語教室の場所や回数を増やしてほしい」との回答は前回調査を5.6ポイント下回っている。

【11-2 行政・支援団体への要望】



行政・支援団体等への要望を在留資格別・日本での在住期間別にみると、概ねどの層においても、「日本人と外国人が交流するイベントを増やしてほしい」との回答が他の項目より割合が高い。

【11-2 行政・支援団体への要望（在留資格別・日本での在住期間別）】

(%)

		相外国 談を語 を増や し情報 提供し たい	数日本 を増語 やし教 室の場 所や回	ほや外 しセ国 いミ人 ナ一 けの 増イ やしベ ン ト	てす日 ほる本 しいイ イベ ン トを 増 や し 交 流	ン解日 トを本 を深人 めらに る対 したして ため のほ しい イ ベ ン ト	そ の 他
全体 (n=403)		30.8	31.8	25.8	54.1	33.0	6.0
在留資格別	永住者 (n=111)	28.8	28.8	26.1	55.9	38.7	4.5
	日本人または永住者の配偶者など (n=47)	29.8	46.8	27.7	48.9	29.8	8.5
	定住者 (n=18)	27.8	16.7	22.2	50.0	38.9	11.1
	家族滞在 (n=11)	36.4	54.5	18.2	45.5	27.3	0.0
	研修 (n=51)	27.5	31.4	19.6	49.0	29.4	15.7
	特定活動 (n=14)	14.3	42.9	28.6	78.6	35.7	0.0
	留学 (n=48)	31.3	20.8	35.4	66.7	31.3	2.1
	技能実習 (n=67)	40.3	34.3	22.4	49.3	22.4	1.5
その他 (n=31)	25.8	29.0	29.0	51.6	45.2	9.7	
在住期間別 日本での	3年未満 (n=179)	35.2	36.3	24.0	54.2	27.4	5.6
	3年～5年未満 (n=49)	26.5	36.7	24.5	63.3	26.5	2.0
	5年～10年未満 (n=43)	27.9	34.9	34.9	51.2	46.5	2.3
	10年～20年未満 (n=69)	26.1	27.5	26.1	55.1	42.0	5.8
	20年以上 (n=56)	26.8	16.1	25.0	50.0	37.5	12.5

11-3 県や市町村に行ってほしい行政サービスがあれば自由に書いてください。

(以下、代表例)

○コミュニケーション支援

- ・雇用、就職活動、税金、年金などの問題について、もっと英語でのサポートが欲しい。また県内の小さな地域で、無料、もしくは低価格の日本語の授業があるとありがたい。
- ・子どもに対して使うような話し言葉なら理解できる外国人も多いので、外国語での情報提供以外の日本語のお知らせについても簡単でやさしい日本語で行ってほしい。
- ・週末にイベントや日本語教室を開講してほしい。日曜日に3時間でもいいので、日本語教室の時間を増やしてほしい。

○生活支援

- ・市営住宅は当選しにくい。少し良い部屋になると特に難しくなる。
- ・子どもを安心して預けることができる保育園を増やしてほしい。特に病児保育などを充実してほしい。家事、仕事、子育てを両立させるために、家事手伝い人材派遣サービスがあれば良い。
- ・みんな日本語がわからないので、特に病院で診察を受ける際の手続きが本当に不便です。有料通訳でもかまいません。

○多文化共生の地域づくり

- ・日本のお祭りやイベントに参加したいと思います。今は実習生として日本にきていますが、次回は留学生として日本に戻りたいと思います。
- ・日本の社会文化や風習・習慣などをもっと理解できるように、日本人と外国人の交流イベントを増やしてほしいです。
- ・日本に住む外国人は、当然母国とのつながりはたくさん持っている所以他们はいわばそれぞれの文化や国の「大使」。だから、日本の行政から援助があれば、ビジネスや文化、その他の交流分野で日本と彼らの国々の橋渡しとなれるはず。

Ⅲ アンケート調査票

ちょう さ ひょう
調 査 票

【回答例】

・該当する番号を次のように○で囲んでください。

1. A (2.) B 3. C

1. あなたご自身のことについて

1-1 性別はどちらですか？

1. 男 2. 女

1-2 何歳ですか？

(歳)

1-3 国籍は次のどれですか？

1. 中国 2. 韓国・朝鮮 3. ブラジル 4. フィリピン 5. インドネシア 6. ベトナム
7. アメリカ 8. ペルー 9. タイ 10. イギリス 11. その他 (国名:)

1-4 在留資格は次のどれですか？

1. 永住者 2. 日本人または永住者の配偶者等 3. 定住者 4. 家族滞在 5. 研修
6. 特定活動 7. 留学 8. 技能実習 9. その他 ()

1-5 いままで全部で日本にどのくらい住んでいますか？

1. 3年未満 2. 3年～5年未満 3. 5年～10年未満 4. 10年～20年未満 5. 20年以上

1-6 そのうち岡山県に住んでいる期間はどのくらいですか？

1. 3年未満 2. 3年～5年未満 3. 5年～10年未満 4. 10年～20年未満 5. 20年以上

1-7 いま住んでいる市町村はどちらですか？

1. 岡山市 2. 倉敷市 3. 津山市 4. 玉野市 5. 笠岡市 6. 井原市 7. 総社市
8. 高梁市 9. 新見市 10. 備前市 11. 瀬戸内市 12. 赤磐市 13. 真庭市 14. 美作市
15. 浅口市 16. 和气町 17. 早島町 18. 里庄町 19. 矢掛町 20. 新庄村 21. 鏡野町
22. 勝央町 23. 奈義町 24. 西粟倉村 25. 久米南町 26. 美咲町 27. 吉備中央町

1-8 今後どれくらい岡山県および日本に住もうと思っと思っていますか？ (1つに○)

1. ずっと岡山県に住み続ける 2. 日本に住み続けるが、岡山県に限らない
3. 将来は母国に帰る 4. 母国と日本を行ったり来たりする
5. ほかの国に行く 6. わからない 7. その他 ()

1-9 いま同居している人はいますか？（あてはまるもの全てに○）

また、あなたを含めた合計の人数を記入してください。

1. 配偶者 2. 子ども〔 人〕 3. 親 4. 兄弟・姉妹 5. 祖父母 6. 孫
7. その他（ ）・・・・・・合計人数〔 人〕 8. 同居している人はいない

2 使っている言葉について

2-1 あなたは日本語がどれくらいできますか？（1つに○）

(1) 話す

1. 自分の意見を正確に伝えることができる 2. 日常会話ができる 3. 簡単な単語が話せる
4. ほとんど話せない

(2) 聞く

1. テレビのニュースが理解できる 2. 日常会話はだいたい聞きとれる 3. 簡単な単語は聞きとれる
4. ほとんど聞きとれない

(3) 読む

1. 新聞が読める 2. 簡単な漢字交じりの文章が読める 3. ひらがなまたはカタカナの文章が読める
4. ほとんど読めない

(4) 書く

1. 漢字を使って文章が書ける 2. 簡単な漢字交じりの文章が書ける
3. ひらがなまたはカタカナの文章が書ける 4. ほとんど書けない

2-2 あなたは日本語を勉強していますか？（1つに○）

1. 日本語がよくわかるので、勉強する必要がない
2. いま勉強している
3. いま勉強していないが、今後、勉強したい
4. いま勉強していないし、今後も勉強するつもりはない
5. その他（ ）

2-3 上の2-2の質問で2.を選んだ方におたずねします。あなたは現在どのような方法で日本語の勉強をしていますか？（1つに○）

1. 自分で勉強している（本やテレビ、ラジオの講座など） 2. 日本語学校に通っている
3. 県内または住んでいる市町村にある日本語教室 4. 家族や友人、知人に教えてもらう
5. その他（ ）

2-4 上の2-2の質問で3. または4. を選んだ方におたずねします。いま勉強していない理由を教えてください。（あてはまるもの3つまでに○）

1. そのうちに母国に帰る
2. 日本語が難しい
3. どこで日本語が勉強できるのかわからない
4. 母国の言葉だけで生活できる
5. 近くに日本語教室がない
6. 勉強の方法がわからない
7. お金がかかる
8. 勉強する時間がない
9. その他（ ）

2-5 日本語以外の言葉（母国語を含む）で、ほとんど不自由なく使える言葉がありますか？（あてはまるもの全てに○）

1. 中国語
2. 韓国・朝鮮語（ハングル）
3. 英語
4. ポルトガル語
5. タガログ語・フィリピン語
6. インドネシア語
7. ベトナム語
8. タイ語
9. スペイン語
10. その他（いくつでも： ）
11. とくにない

3 仕事について

3-1 あなたは仕事をしていますか？（1つに○）

1. 就 業 中
2. 学 生（アルバイトをしている人を含む）
3. 専 業 主 婦・主 夫
4. 失 業 中
5. その他（ ）

3-2 上の3-1の質問で1. を選んだ方におたずねします。

(1) あなたの仕事は次のどれですか？（あてはまるもの全てに○）

1. 農林漁業
2. 建設業
3. 製造業
4. 情報通信業
5. 運輸業
6. 卸売・小売業
7. 金融・保険業
8. 不動産業
9. 飲食・宿泊業
10. 教育・学習支援業
11. サービス業
12. その他（ ）

(2) あなたはどのように働いていますか？（1つに○）

1. 自営業・家族従業員
2. 研修生・技能実習生
3. 会社経営・役員
4. 正社員
5. 嘱託・契約社員
6. 派遣社員
7. アルバイト・パート・臨時雇い
8. 内職
9. その他（ ）

(3) いまの仕事はどうやって見つけましたか？（1つに○）

1. ハローワーク
2. 民間の派遣会社
3. 家族・親戚の紹介
4. 知人の紹介
5. いまの勤務先からの勧誘
6. 新聞や雑誌
7. 母国での情報
8. その他（ ）

(4) 一年前と比べて、現在のあなたの収入はどう変わりましたか？(1つに○)

1. かなり増えた 2. 少し増えた 3. あまり変わらない 4. 少し減った 5. かなり減った

(5) 一年前と比べて、現在のあなたの仕事の量はどう変わりましたか？(1つに○)

1. かなり増えた 2. 少し増えた 3. あまり変わらない 4. 少し減った 5. かなり減った

(6) いまの仕事で不満に思うことは何ですか？(あてはまるもの3つまでに○)

1. 賃金が安い 2. 賃金や残業代がきちんと支払われない 3. 雇用期間が短い
4. いつ解雇されるか不安だ 5. 健康保険や雇用保険に入っていない
6. 労働時間が長い 7. 労働時間が短い 8. 雇用契約の内容と実際が違う
9. 会社の人とうまくコミュニケーションができない 10. 外国人だからといって差別される
11. その他 ()
12. とくにない

4 子育てと教育について

4-1 あなたは、いま日本に18歳以下の子どもがいますか？(あてはまるもの全てに○)

1. 小学校入学以前の子どもがいる 2. 小学生～18歳以下の子どもがいる 3. 子どもはいない

4-2 上の4-1の質問で1.を選んだ方におたずねします。

(1) あなたは主にどのような方法で子育てをしていますか？(1つに○)

1. 家族で育てている 2. 保育園に入園させている 3. 幼稚園に入園させている
4. 職場や民間の託児所に預けている 5. 親族や友人、近所の人に預けている
6. その他 ()

(2) 日本での子育てで過去に困ったことや現在困っていることがありますか？

(あてはまるもの3つまでに○)

1. 妊娠や出産などの手続きがわからない 2. 子どもの出生届や国籍取得の手続きがわからない
3. 親子(母子)手帳や予防接種、検診の案内がわからない 4. 仕事で子どもを預かってくれるところがない
5. 子育てについて誰に相談したらいいかわからない 6. 出産費用が高い
7. 子育てをしている親同士の交流機会が少ない
8. 保育園や幼稚園の先生とうまくコミュニケーションがとれない
9. 保育園や幼稚園で子どもがいじめられる
10. その他 ()
11. とくにない

4-3 上の4-1の質問で2.を選んだ方におたずねします。

(1) 子どもは日本の学校に通っていますか？

1. 通っている 2. 通っていない

(2) 上の(1)の質問で1.を選んだ方におたずねします。あなたが日本の学校に望むことは何ですか？

(あてはまるもの全てに○)

- 外国人の児童生徒のみを対象とする授業をしてほしい
- 日本人と同じ授業の中で特別に指導をしてほしい
- 放課後に特別な指導をしてほしい
- その他 ()
- とくにない

(3) 上の(1)の質問で2.を選んだ方におたずねします。あなたの子どもは主にどのような教育を受けていますか？(あてはまるもの全てに○)

- 外国系・民族系の学校に通っている
- フリースクール、塾などに通っている
- 家庭教師の指導や通信教育を受けている
- その他 ()
- とくにない
- 教育を受けずに働いている

(4) 上の4-1の質問で2.を選んだ方におたずねします。あなたが子どもの教育について心配することは何ですか？(あてはまるもの3つまでに○)

- 子どもが日本語を十分に理解できない
- 学校の授業内容が難しい
- 学校でいじめられる
- 友だちができない
- 学校に行きたがらない
- 高校・大学に進学できるか不安
- 教育費が高い
- 子どもが母国語を話せなくなる
- 子どもが母国の文化や価値観を理解しない
- 日本の学校や教育の制度がわからない
- 学校からの連絡が理解できない
- 外国系・民族系学校が少ない
- その他 ()
- とくにない

5 住宅について

5-1 あなたはどのような家に住んでいますか？(1つに○)

1. 持ち家 2. 民間の賃貸住宅 3. 公営の賃貸住宅 4. 社宅 5. その他 ()

5-2 住宅に関して困ったことは何ですか？(あてはまるもの全てに○)

- 外国人を理由に断られた
- 保証人がいなかった
- 住宅価格や家賃が高い
- 入居時の仕組み(敷金、礼金など)がわからない
- 住宅購入資金の融資が受けられない
- 日本語での手続きが難しい
- その他 ()
- とくにない

6 医療や保険について

6-1 あなたは、次のような保険や年金に加入していますか？（あてはまるもの全てに○）

1. 市町村の国民健康保険・年金
2. 職場の社会保険・年金
3. 保険会社などの任意保険・年金
4. 何も加入していない
5. その他（ ）

6-2 上の6-1の質問で4.を選んだ方におたずねします。加入していない理由は何ですか？（1つに○）

1. 日本の保険や年金の制度を知らない
2. 制度があるのは知っているが内容がよくわからない
3. 加入する必要がないと思う
4. 加入したいが金銭的に負担できない
5. その他（ ）

6-3 あなたや家族が、けがや病気のときどうしますか？（1つに○）

1. がまんする
2. 治療を受けず、薬局で薬を買う
3. 病院や診療所へ行く
4. その他（ ）

6-4 上の6-3の質問で1.または2.を選んだ方におたずねします。病院や診療所へ行かない理由は何ですか？（あてはまるもの3つまでに○）

1. どの病院に行けばいいかわからない
2. 健康保険に入っていない
3. 仕事や学校が休めない
4. 言葉の通じる病院や診療所がない
5. 日本での治療法や薬が不安だ
6. 診療を拒否されたことがある
7. お金に余裕がない
8. その他（ ）

7 防災について

7-1 地震や台風などの災害が発生したとき、あなたはどこから情報を入手しますか？

（あてはまるもの3つまでに○）

1. テレビ
2. ラジオ
3. インターネット（パソコン）
4. 携帯電話
5. 家の電話
6. 新聞
7. 防災無線
8. 町内放送
9. 役所
10. 友人・知人に聞く
11. 職場・学校の人に聞く
12. その他（ ）
13. わからない

7-2 災害に関して知っておきたい情報は何ですか？（あてはまるもの全てに○）

1. 住んでいる地域の過去の災害情報
2. 避難場所や避難経路
3. 緊急時の問い合わせ先
4. 防災訓練の実施日・内容
5. その他（ ）
6. とくにない

7-3 地震や台風などの災害に日頃からどんな準備をしていますか。

（あてはまるもの3つまでに○）

1. 食糧や飲料水を準備している
2. 携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している
3. 近くの学校や公園など、避難する場所を決めている
4. 家族との連絡方法などを決めている
5. 家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している
6. 日用品（衣料品、救急セット、医薬品など）をすぐ持ち出せるように準備している
7. 貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している
8. 防災訓練に参加している
9. その他（ ）
10. とくに何もしていない

8 生活情報について

8-1 あなたは生活に必要な情報をどこで入手しますか？（あてはまるもの3つまでに○）

1. 母国語または英語のマスメディア（新聞、雑誌、テレビなど）
2. 母国語または英語のインターネット
3. 日本語のマスメディア（新聞、雑誌、テレビなど）
4. 日本語のインターネット
5. 県や市町村の広報誌やチラシ
6. 同じ国籍の友人・知人
7. 日本人の友人・知人
8. 職場や学校
9. その他（ ）

8-2 県や市町村、支援団体（県や市町の国際交流協会、社会福祉協議会など）からの情報はあなたがわかる言葉で十分ありますか？（1つに○）

1. 十分だ
2. まあ十分だ
3. 少し足りない
4. 全く足りない

8-3 県や市町村、支援団体からどのような情報を提供してほしいですか？

（あてはまるもの3つまでに○）

1. 住居
2. 教育
3. 結婚・出産・育児
4. 病院・保健所・医療
5. 就職や雇用
6. 災害や事故の対応
7. 在留資格
8. 税金や年金
9. 電気・水道・ゴミの出し方
10. 図書館や公民館など公共施設のこと
11. 電車やバスの乗り方
12. 町内会の行事や連絡先
13. 地域でのイベントや祭り
14. 通訳や翻訳のボランティア
15. 外国語で相談できる窓口
16. その他（ ）
17. とくにない

9 困りごとや相談について

9-1 あなたが普段の生活で困っていることや不安に思っていることは何ですか？

(あてはまるもの3つまでに○)

1. 住宅のこと
2. 子育てのこと
3. 子どもの学校のこと
4. 病気やけがのときの対処のしかた
5. 仕事のこと
6. 災害や緊急事態の対処のしかた
7. 生活情報の入手
8. 地域社会との関わり
9. 言葉に関すること
10. 生活費のこと
11. 習慣・文化の違い
12. その他()
13. とくにない

9-2 あなたやあなたの家族や友人が地域との間でトラブルを経験したことがありますか？

(1つに○)

1. ない
2. ある



9-3 上の9-2の質問で2.を選んだ方におたずねします。トラブルの一番の原因は何だと思えますか？

(1つに○)

1. 日本人が外国人の生活習慣や文化に理解がない
2. 外国人が日本の習慣や決まりを理解していない
3. お互いに言葉が通じない
4. お互いにコミュニケーションをとらない
5. 相手の生活習慣や文化を理解しようとする気持ちがない
6. その他()
7. わからない

※よろしければ、トラブルの内容と誰かに相談された場合は相談先を書いてください

(内容)	
(相談先)	

9-4 あなたは、普段の生活の中で、日本人から外国人に対する偏見や差別を感じたことがありますか？

(1つに○)

1. 全くない
2. あまりない
3. ときどきある
4. よくある
5. わからない



9-5 上の9-4の質問で3.4.を選んだ方におたずねします。偏見や差別をどのような場合に感じましたか？(あてはまるもの全てに○)

1. 公的機関の手続きなど
2. 日本人の友人との付き合いのとき
3. 近所の人との付き合いのとき
4. 家を探すとき
5. 自分や家族が結婚するとき
6. 電車やバス等に乗っているとき
7. 出産・育児の場面
8. 学校などの教育の場
9. 仕事のとき
10. その他()

9-6 外国人と日本人が地域の中でいっしょに生きていくためには、何が必要だと思いますか？

(あてはまるもの3つまでに○)

1. 外国人をもっと雇ってほしい・良い環境で働けるようにしてほしい
2. 外国人向けの相談回数や場所を増やしてほしい
3. 外国語の生活情報の種類を増やしてほしい
4. 外国人が日本語を勉強したり、外国人の子どもが勉強するチャンスを増やしてほしい
5. 外国人の意見を行政に取り込むシステムをつくってほしい
6. 外国人に対する日本人の理解を深めてほしい
7. その他()
8. とくにない
9. わからない

10 地域社会との関わりについて

10-1 あなたが地域で参加している活動がありますか？(あてはまるもの全てに○)

1. スポーツ
2. お祭り・イベント
3. 趣味・習い事
4. 日本語や日本文化を学ぶ活動
5. 母国語や母国文化を学ぶ活動
6. その他()
7. とくにない

10-2 外国人が地域での活動に参加しやすくなるためには、どうすればいいと思いますか？

(あてはまるもの3つまでに○)

1. 開催日などの情報をよく知らせる
2. 休日に実施する
3. 近くで実施する
4. 友人・知人が一緒に参加する
5. 同じ国の人や言葉が通じる人が参加する
6. 学校や職場の許可・理解が得られる
7. その他()
8. とくに参加したくない

10-3 あなたが普段お付き合いしているのは主にどのような人ですか？(1つに○)

1. 日本人が多い
2. 自分と同じ国の出身の人が多い
3. 国籍にかかわらず外国人が多い
4. 日本人と外国人とが同じくらい
5. 人との付き合いはあまりない
6. その他()

10-4 あなたが地域(岡山県)の国際化を進めるためにできる活動がありますか？

(あてはまるもの3つまでに○)

1. 日本人に母国の言葉を教えたり文化を紹介する
2. 母国と岡山県との交流の架け橋となる
3. 困っている外国人を支援する
4. 日本人と一緒にボランティア活動に取り組む
5. 公益的な活動に寄付をする
6. その他()
7. とくにない

1 1 行政・支援団体のサービスについて

1 1-1 行政・支援団体が実施している日本語教室や各種相談業務等のサービスを利用されたことがありますか？（1つに○）

1. 週1回くらい利用する
2. 月1回くらい利用する
3. いままで1回以上利用したことがある
4. 電話で相談したり情報提供を受けたことがある
5. 知っているが利用したことはない
6. 知らない

1 1-2 行政・支援団体にどのようなことを望みますか？（あてはまるもの3つまでに○）

1. 外国語での情報提供や相談を増やしてほしい
2. 日本語教室の場所や回数を増やしてほしい
3. 外国人向けのイベントやセミナーを増やしてほしい
4. 日本人と外国人が交流するイベントを増やしてほしい
5. 日本人に対して国際理解を深めるためのイベントを増やしてほしい
6. その他（ ）

1 1-3 県や市町村に行ってほしい行政サービスがあれば自由に書いてください

[]

1 2 自由意見

1 2 ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください

[]

ご協力ありがとうございました

岡山県在住外国人生活状況調査報告書

平成 30 年 3 月

岡山県県民生活部国際課

〒700-8570 岡山市北区内山下 2-4-6

TEL : 086-226-7284